

Rack2-Filer Smart

を使おう!

❖本書の使い方

1. Rack2-Filer Smart の基本操作を体験

⇒使ってみよう (7 ページ)

2. Rack2-Filer Smart の便利な使い方を習得

⇒使いこなそう (23 ページ)

本書で使用する用語や略記については、「本書の記載について」(78 ページ)を参照してください。

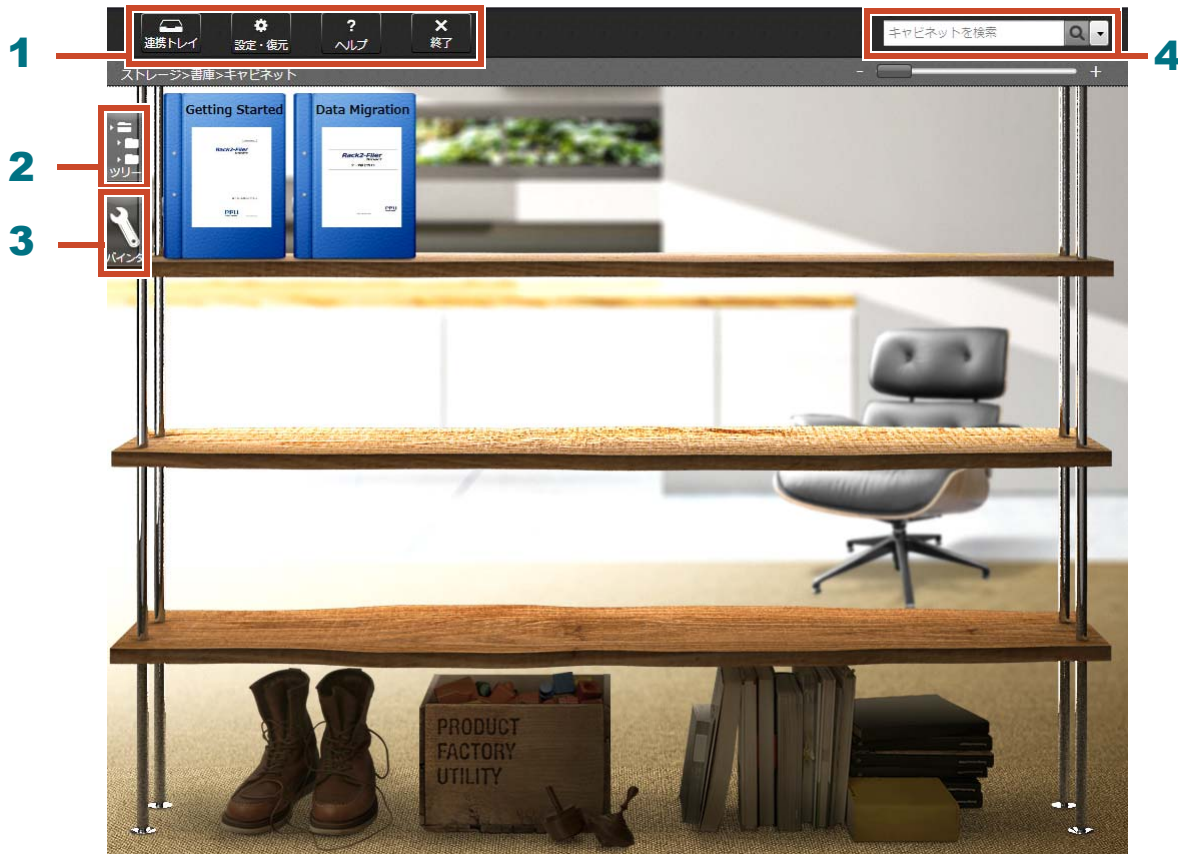


はじめに

Rack2-Filer Smart では、実際の書棚のバインダを扱う感覚で、データを管理・閲覧・編集することができます。

●キャビネット

バインダを管理したり、動作環境を設定したりする画面です。



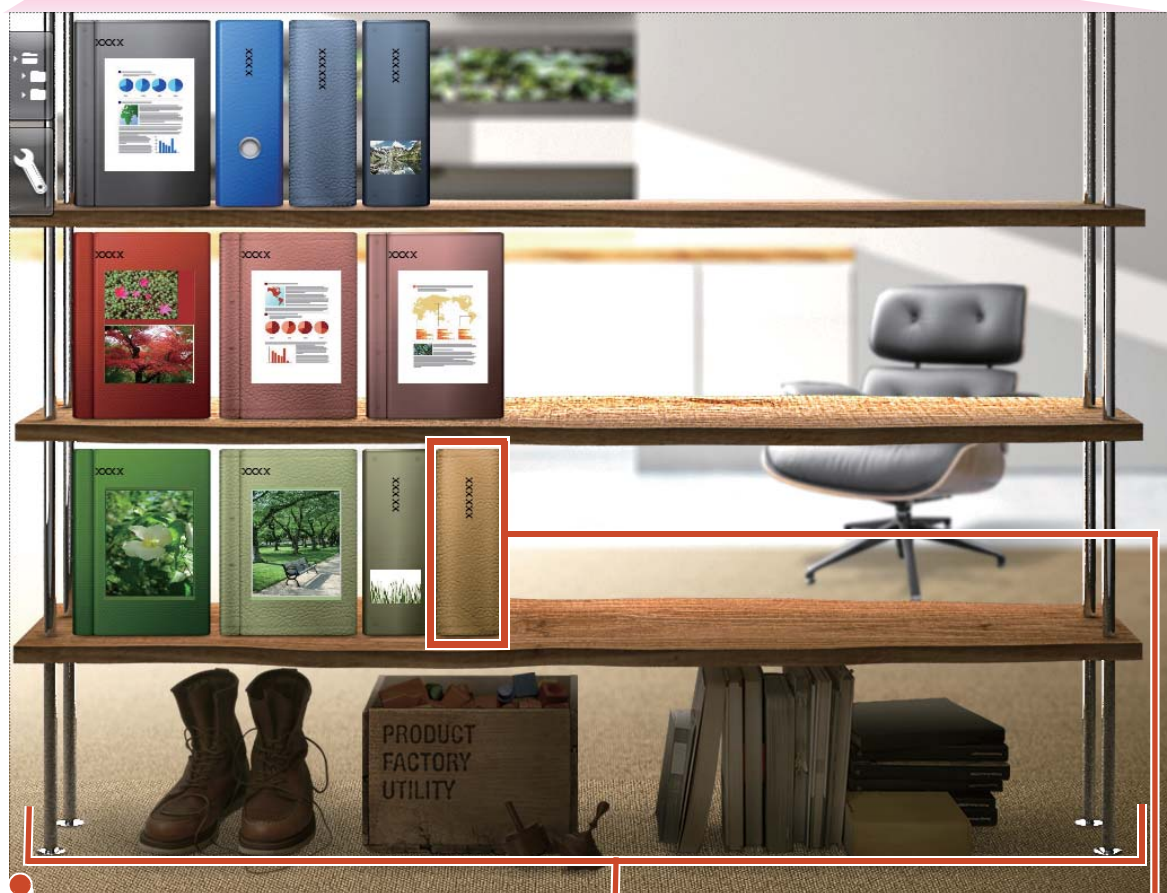
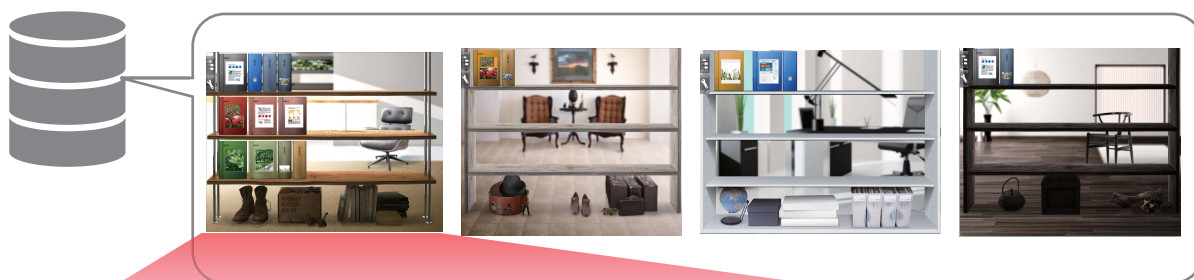
キャビネット画面では、以下の操作が行えます（表の番号は上の画面と対応付けられています）。

番号	操作
1	<ul style="list-style-type: none">ScanSnap やモバイル機器から取り込んだデータを連携トレイに格納し、あとから分類してバインダに保存できます。動作環境を設定できます。
2	ストレージ / 書庫 / キャビネット / バインダを操作できます。
3	バインダを操作できます。
4	バインダを検索できます。

画面の各項目については、**?** をクリックして、『Rack2-Filer Smart ヘルプ』を参照してください。

データは、以下のように管理されます。

ストレージ (*1)



書庫

キャビネット

バインダ

*1: Rack2-Filer Smart のデータを保管する場所です。ローカルドライブ、ネットワークドライブ、クラウドストレージが設定できます。

それぞれで管理できる数については、「管理できるデータの数」(70 ページ) を参照してください。

●ビューア

バインダを閲覧する画面です。



ビューアでは、以下の操作が行えます（表の番号は上の画面と対応付けられています）。

番号	操作
1	目次を表示して、バインダの内容を把握できます。
2	ページを編集できます。
3	ページに付箋紙 / メモ / マーカー / スタンプ / ハイパーリンクを追加できます。
4	ページに取り込んだ名刺、写真を編集できます。
5	バインダを保存 / 印刷 / メール送信 / PDF 出力できます。
6	ページを検索できます。
7	ページの表示方法（見開き表示 / 1 ページ表示 / サムネイル表示）を変更できます。
8	ページを拡大表示できます。 ■でマウスの左ボタンを押しながら右にスライドします。

画面の各項目については、**?**をクリックし、ヘルプを参照してください。

操作の流れとできること（目次）

Rack2-Filer Smart の代表的な使い方は、以下のとおりです。

備考 :[Windows のセキュリティの重要な警告] 画面が表示された場合

初回の起動時や操作時、Windows のファイアウォールにより、[Windows のセキュリティの重要な警告] 画面が表示される場合があります。詳細は、「[Windows のセキュリティの重要な警告] 画面が表示された場合」（74 ページ）を参照してください。

1.起動	 デスクトップの  をダブルクリック	
2.作成	バインダを作成します	8
3.取り込み	ファイルを取り込みます	10
	紙を読み取ります	12
	ScanSnap からデータを取り込みます	24
	Web ブラウザのページを取り込みます	27
	Magic Desktop からデータを取り込みます	31
4.検索	ページを検索します	33
5.編集	ページを移動します	14
	付箋紙 / メモ / マーカーを追加します	16
	ページにコピーした電子ファイルを編集します	36
	写真を整理します	38
6.出力	モバイル機器へエクスポートします	45
	クラウドストレージにバインダをアップロードします	55
	ページを PDF に変換して保存します	63
	バインダを複製 / 移動します	65

本書では、上記を基本的な操作と便利な使い方に分類して説明しています。

目次

❖使ってみよう 7

説明を順番に読むと、Rack2-Filer Smart の基本的な操作を体験できます（所要時間：10分～15分程度）。

1. バインダを作成します	8
2. ファイルを取り込みます	10
3. 紙を読み取ります	12
4. ページを移動します	14
5. 付箋紙 / メモ / マーカーを追加します	16
6. Rack2-Filer Smart を終了します	21

❖使いこなそう 23

Rack2-Filer Smart の便利な使い方を知ることができます。

1. ScanSnap からデータを取り込みます	24
2. Web ブラウザのページを取り込みます	27
3. Magic Desktop からデータを取り込みます	31
4. ページを検索します	33
5. ページにコピーした電子ファイルを編集します	36
6. 写真を整理します	38
7. モバイル機器へエクスポートします	45
8. クラウドストレージにバインダをアップロードします	55
9. ページを PDF に変換して保存します	63
10. バインダを複製 / 移動します	65
11. 他にもこんなことができます	68

❖本製品の仕様と注意事項 70

本書で説明している内容に関する、Rack2-Filer Smart の仕様と注意事項を知ることができます。

索引	76
----------	----

使ってみよう

データの入れ物（バインダ）を作成し、Rack2-Filer Smart にデータを取り込み、ページを編集する基本的な操作を紹介します。

説明を読みながら、Rack2-Filer Smart の基本的な使い方を体験しましょう！

（所要時間：10分～15分程度）

以下の説明を、順番にお読みください。

1. バインダを作成します	8
2. ファイルを取り込みます	10
3. 紙を読み取ります	12
4. ページを移動します	14
5. 付箋紙 / メモ / マーカーを追加します	16
6. Rack2-Filer Smart を終了します	21

1. バインダを作成します

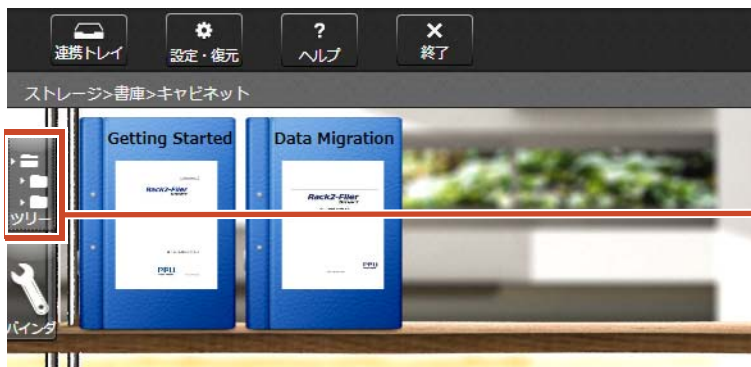
用途に合わせて、いろいろなデザインのバインダを作成できます。



操作

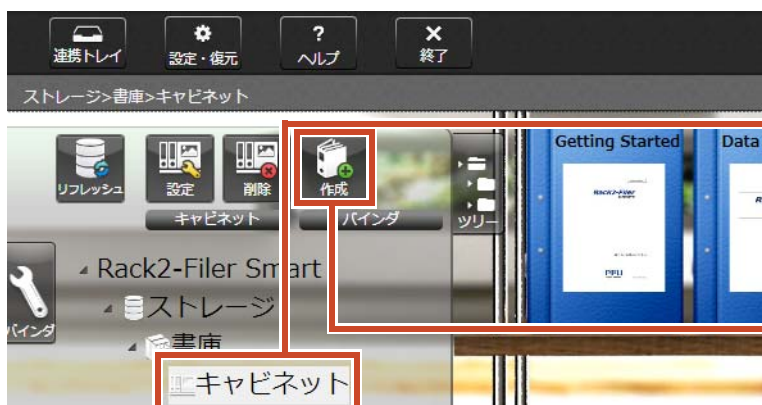
インストール時に作成されたキャビネットに「保管資料」というバインダを作成しましょう。

1



ツリー表示されていない場合はクリック

2



1. バインダを作成するキャビネットを選択

2. クリック

3



1. 「保管資料」と入力

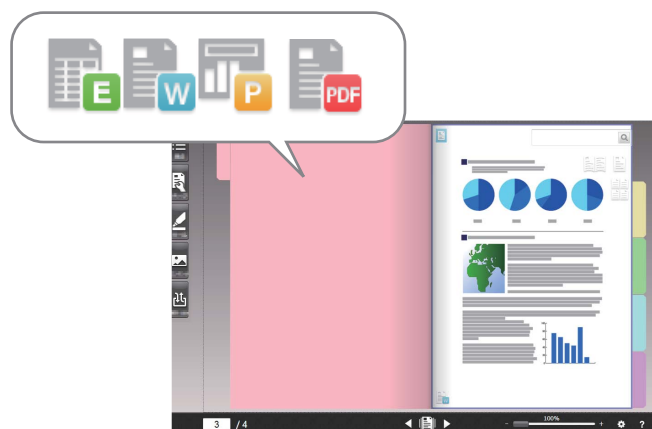
2. クリック



バインダが作成されます。

2. ファイルを取り込みます

パソコンにたまった電子ファイルをバインダに取り込んで整理しましょう。



備考：取り込めるファイルの形式

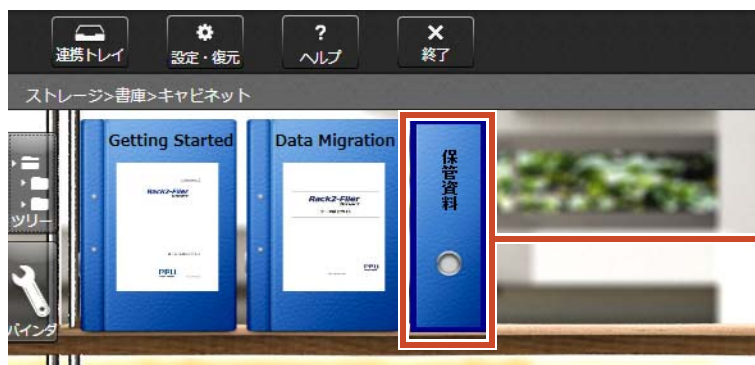
「取り込めるファイル形式」(70 ページ) を参照してください。

操作

電子ファイルをバインダに取り込みましょう。

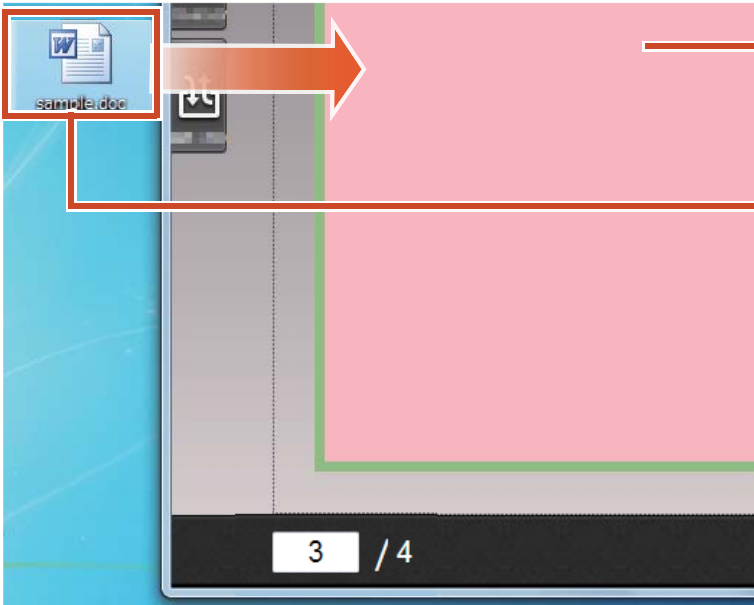
ここでは、デスクトップにある Microsoft Word のファイル (Word 文書) を取り込む例で説明します。

1



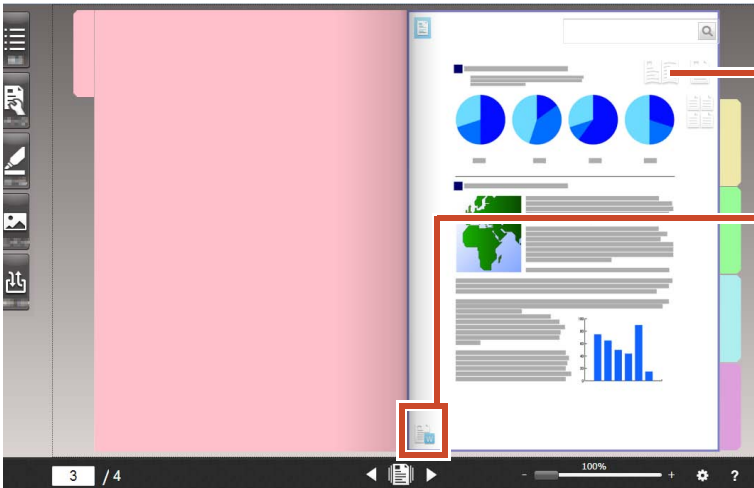
ダブルクリック

2



1. ファイルを取り込むページ（インデックス）を開く

2. バインダヘドラッグ & ドロップ



Word 文書の内容がページに表示されます。

取り込み元の Word 文書がページにコピーされていることを示しています。取り込んだ Word 文書を表示する方法については、「ページにコピーした電子ファイルを編集します」(36 ページ) を参照してください。

3. 紙を読み取ります

ScanSnap で紙を読み取って、バイндаに取り込みましょう。

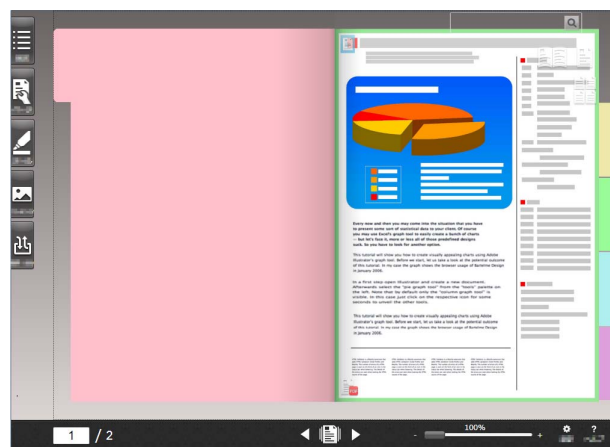


備考：サポート対象スキャナ（ScanSnap）

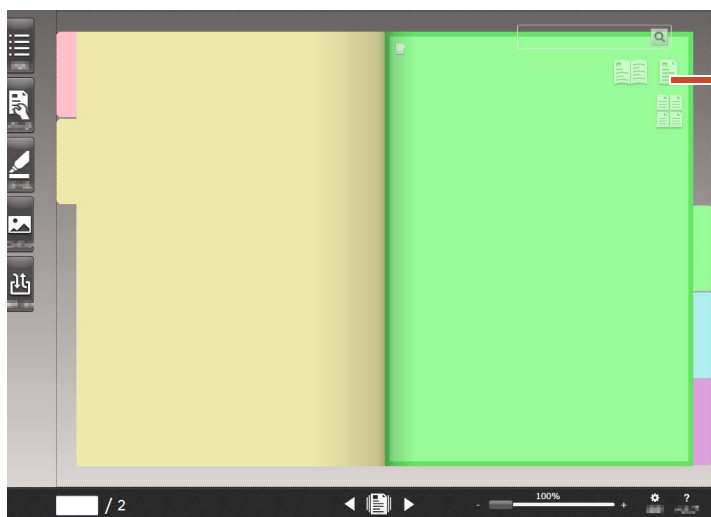
『はじめにお読みください』の「動作環境」を参照してください。

操作

A4 サイズの紙文書をバイндаに取り込みましょう。

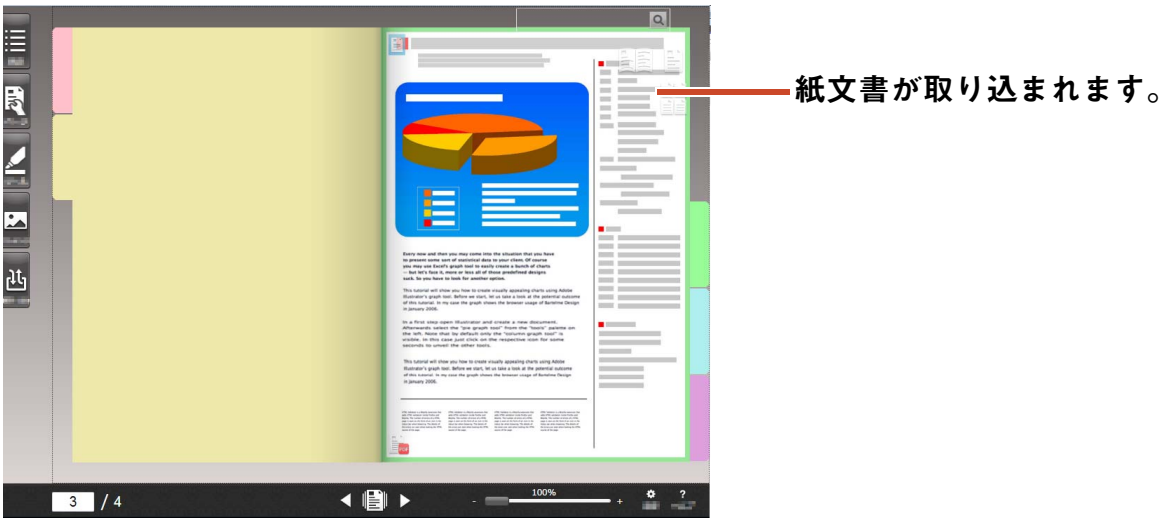
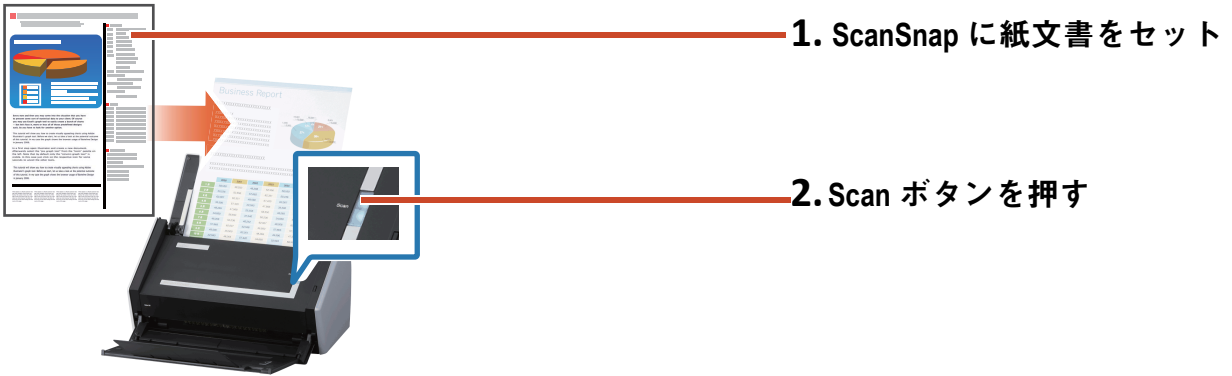


1



紙文書を取り込むページを表示

2



4. ページを移動します

ページをサムネイルで表示し、選択したページをドラッグ＆ドロップで移動します。

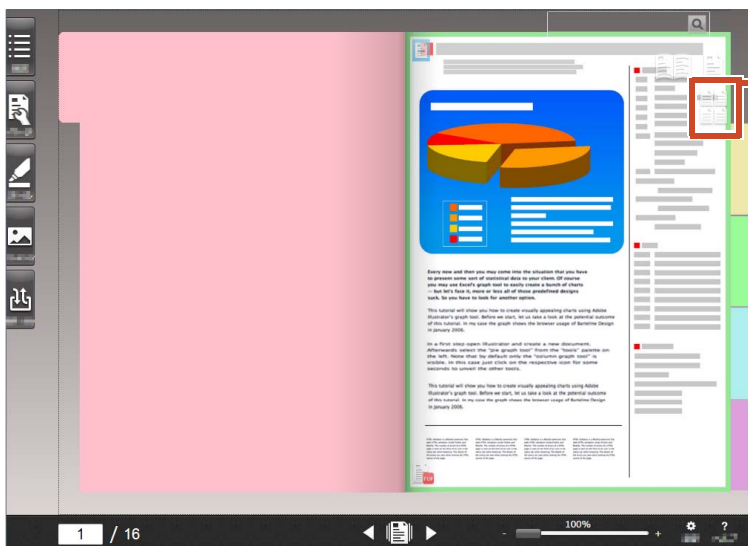


ここでは、ビューアでページを移動する方法を説明します。

ページを切り取って貼り付けることでも、ページを移動できます。詳細は、『Rack2-Filer Smart ヘルプ』の「ビューア画面ヘルプ」を参照してください。

操作

1



をクリック

2

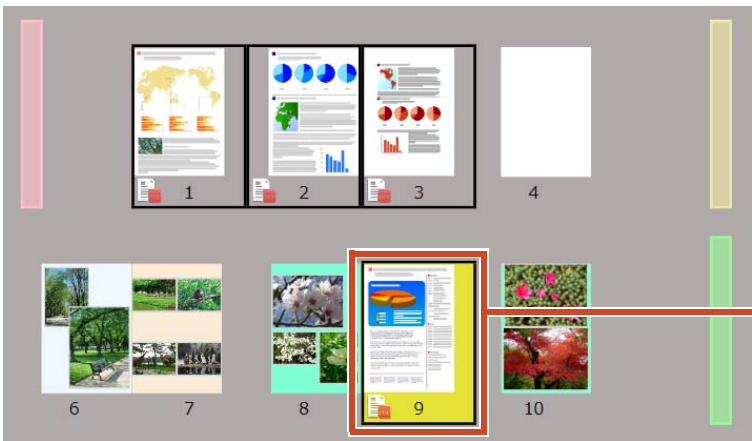


移動するページをクリック (選択)

3



移動したい位置に、ドラッグ & ドロップ



ページが移動されます。

備考：選択したページに電子ファイルが含まれている場合

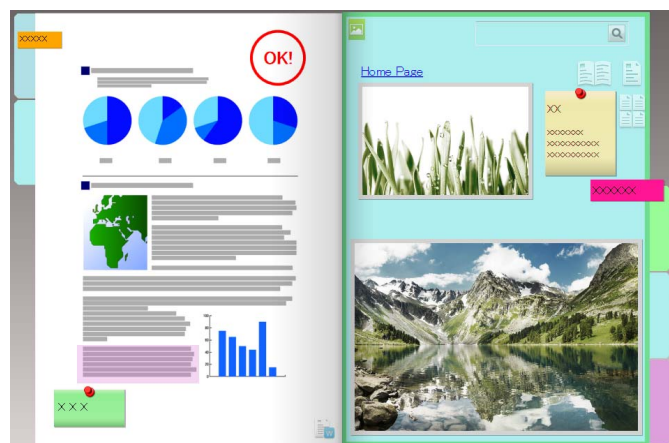
電子ファイルを含むすべてのページを移動するかを確認するメッセージが表示されます。

すべてのページを移動する場合は [はい] ボタンを、電子ファイルを削除し、選択したページのみを移動する場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。

5. 付箋紙 / メモ / マーカーを追加します

紙と同じイメージで、ページに以下（「ツール情報」といいます）を追加できます。

- 付箋紙
- メモ
- マーカー
- スタンプ
- ハイパーリンク



付箋紙やメモに入力した文字列で、ページを検索することもできます。

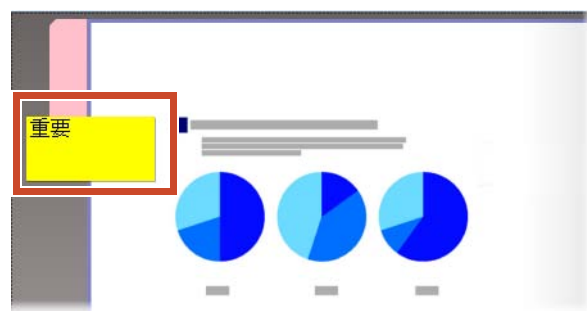
ここでは、付箋紙 / メモ / マーカーを追加する方法を説明します。

その他のツール情報を追加する方法については、『Rack2-Filer Smart ヘルプ』の「ビューア画面ヘルプ」を参照してください。

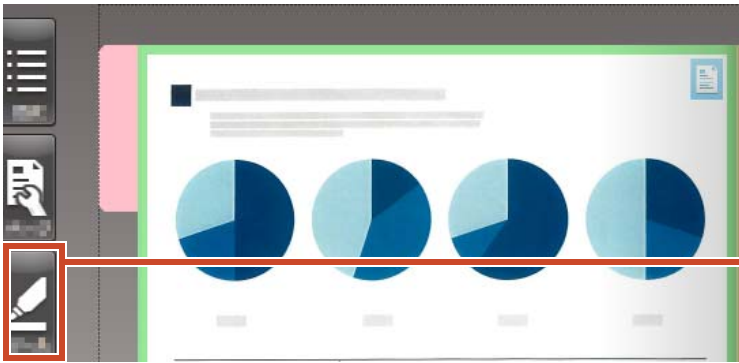
5.1 付箋紙を追加します

操作

黄色の付箋紙に「重要」と記載しましょう。

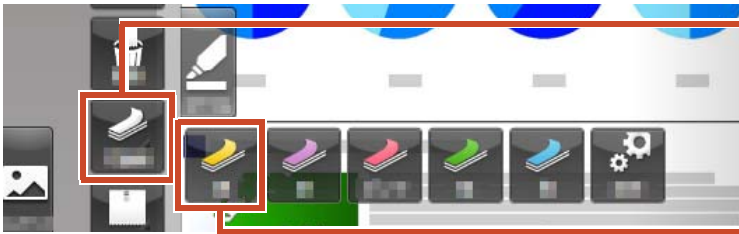


1



クリック

2



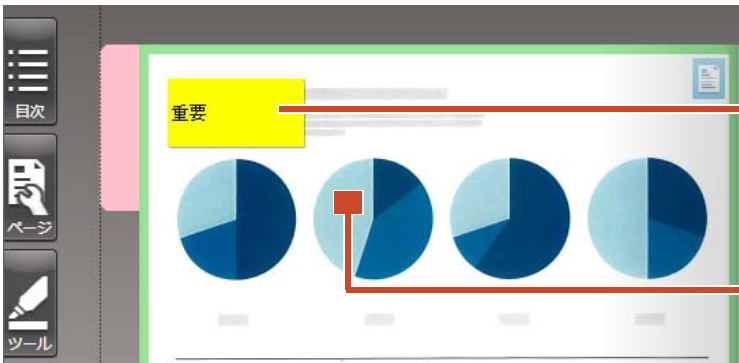
1. クリック

2. クリック



マウスポインタの形が  から  へ変わります。

3



1. ページをクリックし、付箋紙に文字を入力

2. ページ上でクリック



付箋紙が確定します。

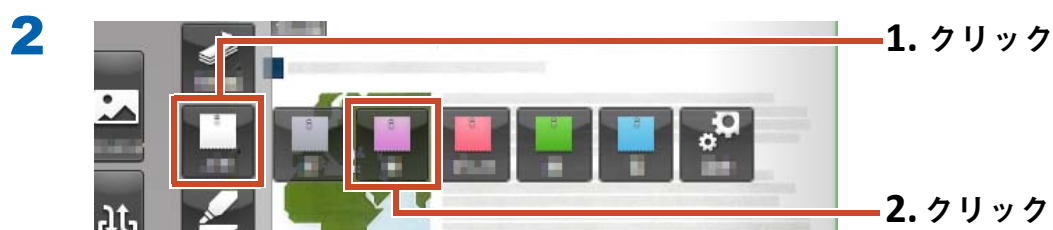
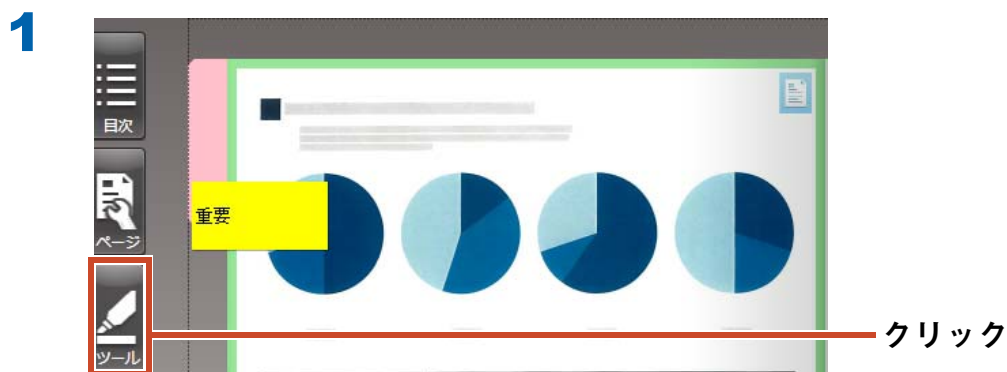
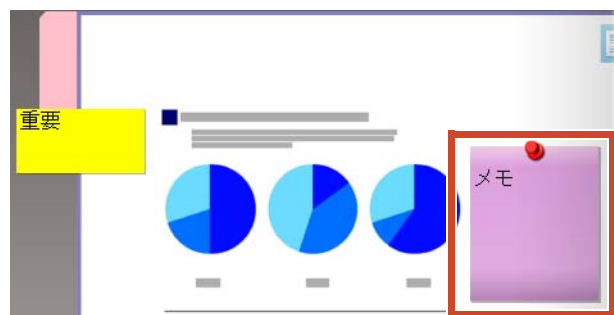




付箋紙を選択してドラッグすると、付箋紙の場所を移動できます。

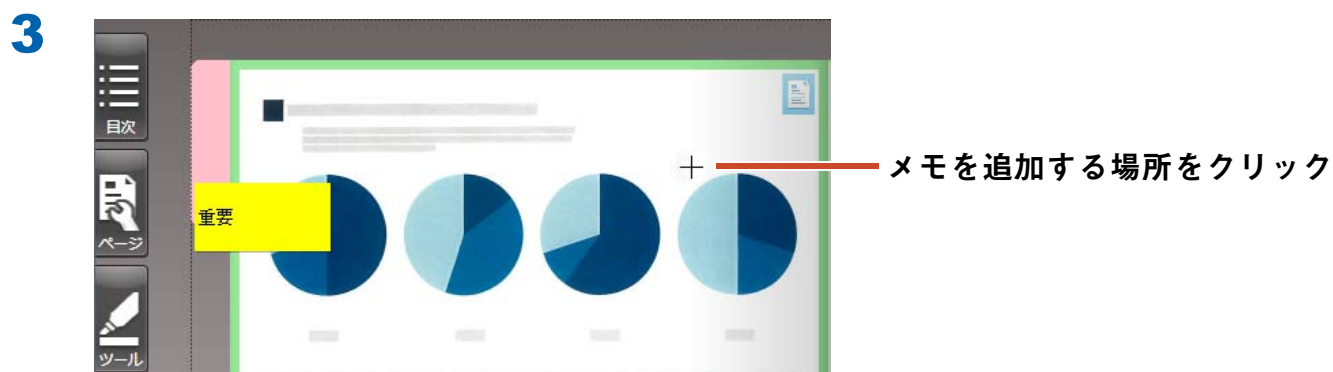
5.2 メモを追加します

操作

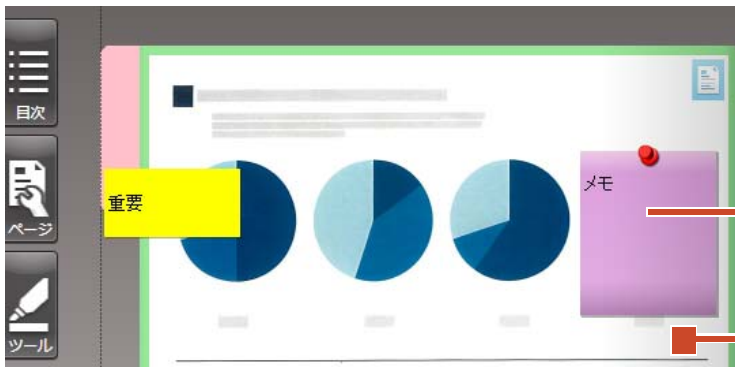
紫色のメモを追加し、「メモ」と記載しましょう。



マウスポインタの形が  から  へ変わります。



4



1. メモに文字を入力

2. ページ上でクリック

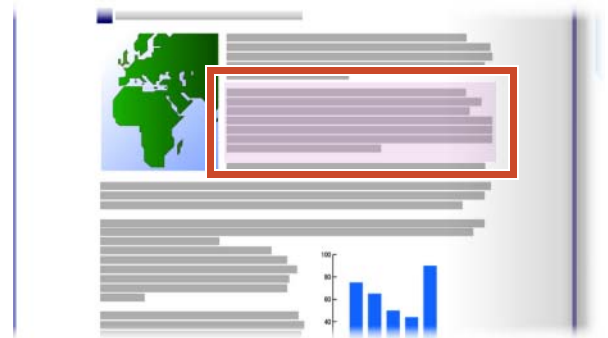


メモが確定します。

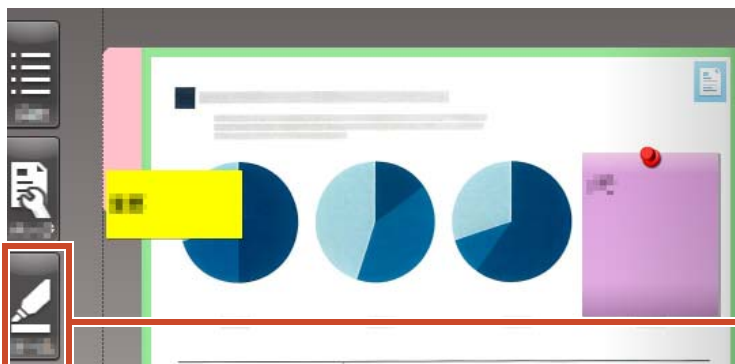
5.3 マーカーを追加します

操作

紫色のマーカーを追加しましょう。





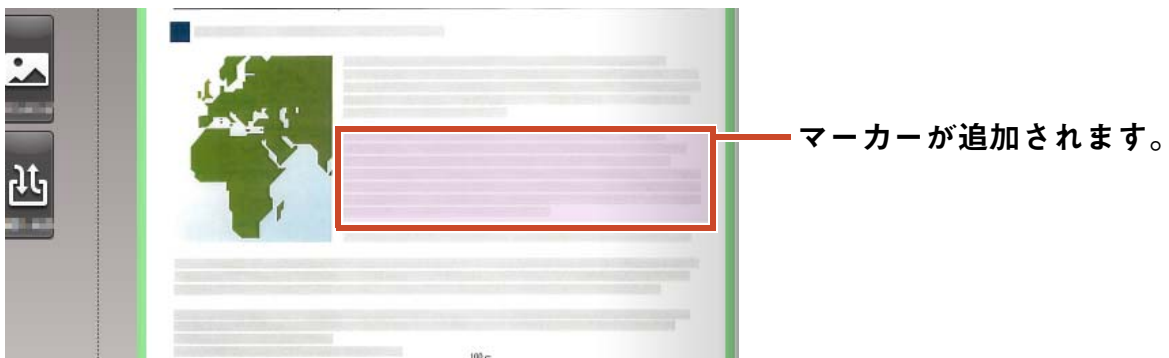
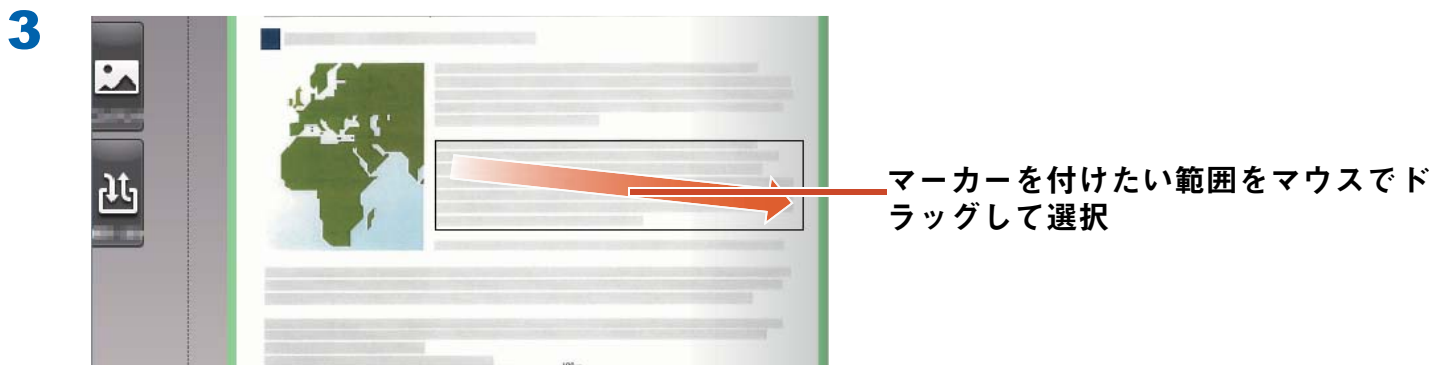
1



クリック



マウスポインタの形が  から  へ変わります。



6. Rack2-Filer Smart を終了します

バインダを保存して、Rack2-Filer Smart を終了します。

6.1 バインダを保存します

操作

1



バインダが保存されます。

6.2 Rack2-Filer Smart を終了します

バインダを閉じて、キャビネットを終了します。

操作



以上で基本的な操作は終了です。

「使いこなそう」(23 ページ) では、Rack2-Filer Smart の便利な機能を紹介します！

使いこなそう

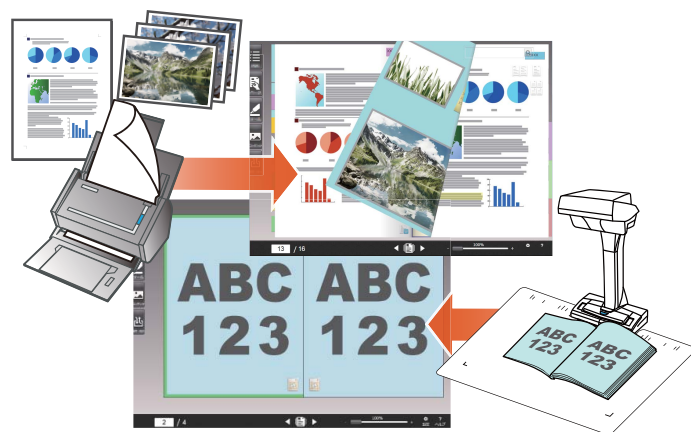
ここでは、Rack2-Filer Smart を活用するための代表的な操作を紹介します。
やりたいことの説明から読んで、操作を試してみましょう。

取り込み	ScanSnap からデータを取り込みます 24
	Web ブラウザのページを取り込みます 27
	Magic Desktop からデータを取り込みます 31
検索	ページを検索します 33
編集	ページにコピーした電子ファイルを編集します 36
	写真を整理します 38
出力	モバイル機器へエクスポートします 45
	クラウドストレージにバインダをアップロードします 55
	ページを PDF に変換して保存します 63
	バインダを複製 / 移動します 65

他にもこんなことができます 68

1. ScanSnap からデータを取り込みます

Rack2-Filer Smart を起動しない状態で、ScanSnap から Rack2-Filer Smart のバイндаにデータを取り込みます。



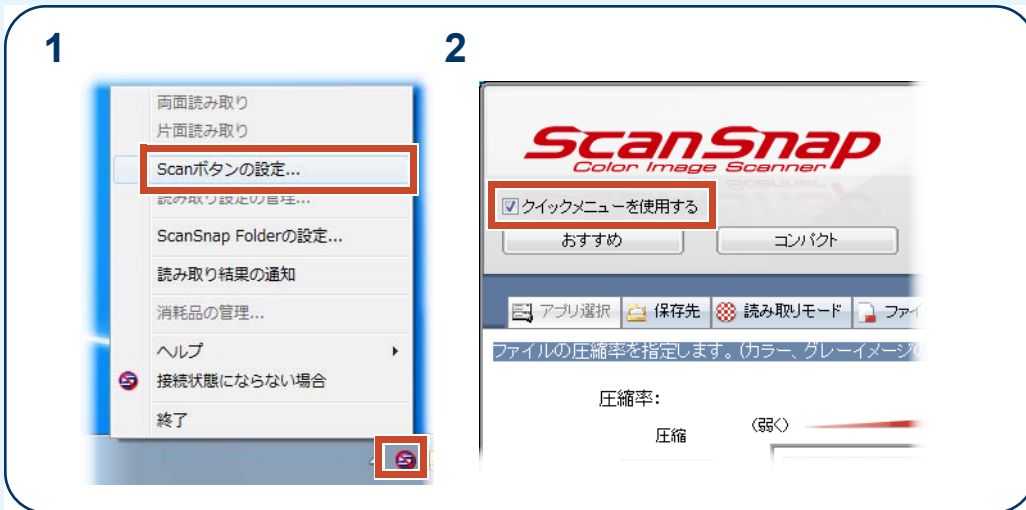
1.1 紙文書や写真を取り込む

ここでは、ScanSnap から複数の紙文書や写真を読み取った後で、バイндаを作成し、データを取り込む操作を紹介します。



備考：操作の前に

- ・「ScanSnap で紙を読み取る場合」（73 ページ）を参照してください。
- ・ここでは、ScanSnap Manager のクイックメニューを使用します。ScanSnap Manager の「Scan ボタンの設定」で、クイックメニューを使用する設定となっているか、ご確認ください。



操作

1



1. ScanSnap に紙文書をセット

2. Scan ボタンを押す

2

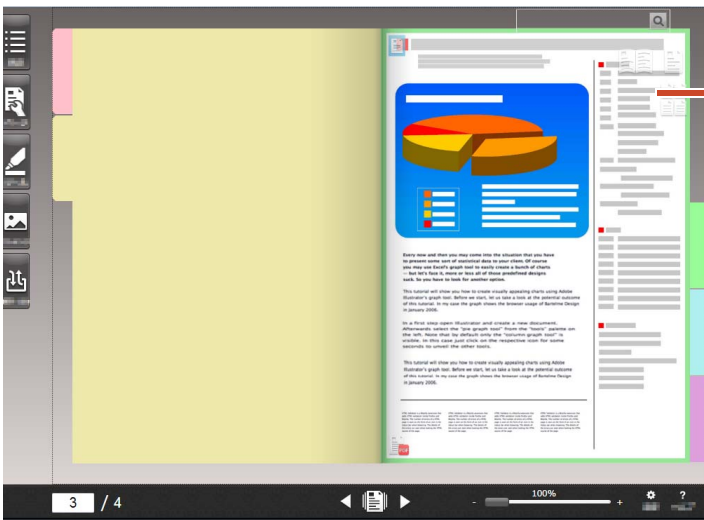


選択

3



クリック

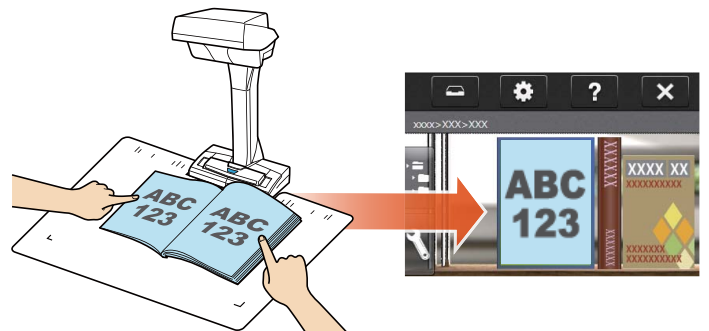


作成したバインダにデータが取り込まれます。

1.2 本を取り込む

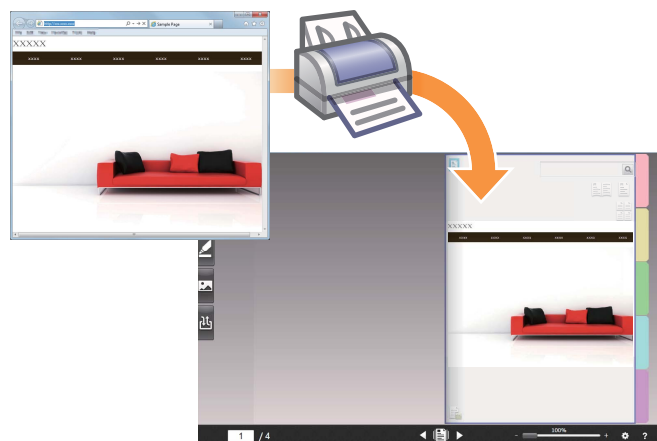
ScanSnap SV600 を使うと、本を断裁せずに Rack2-Filer Smart 上で再現できます。

本を再現する方法については、ScanSnap SV600 の『かんたんガイド』を参照してください。



2. Web ブラウザのページを取り込みます

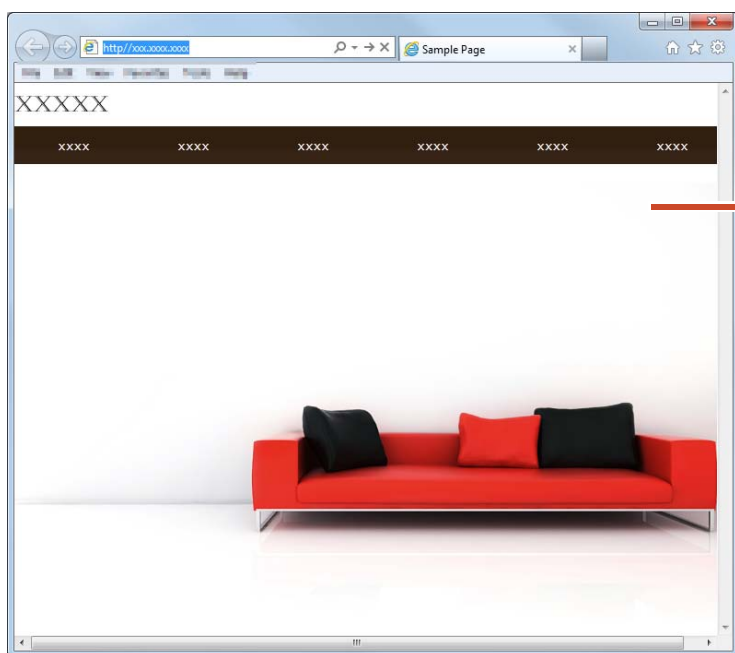
印刷機能を使って、表示しているアプリケーションから、直接ファイルを取り込みます。



操作

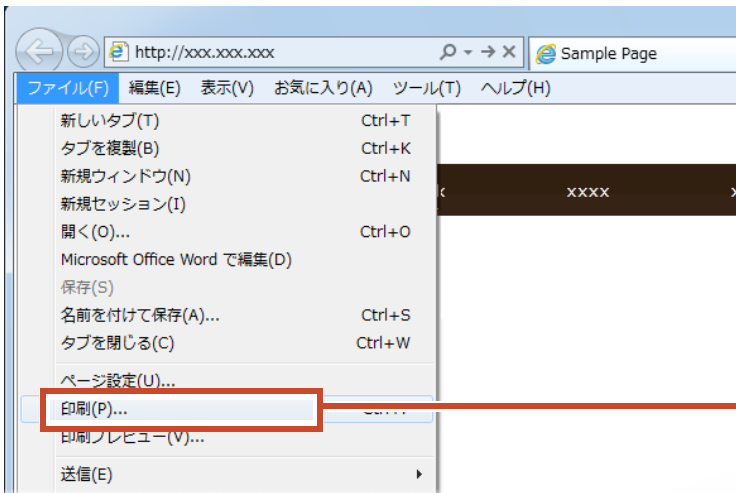
ここでは、Internet Explorer で表示している Web ページを、バインダに取り込む例で説明します。

1



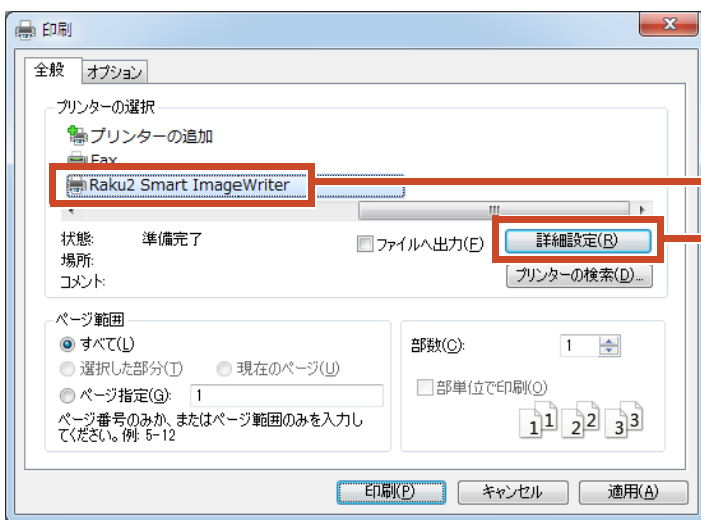
バインダに取り込みたい Web ページを表示

2



クリック

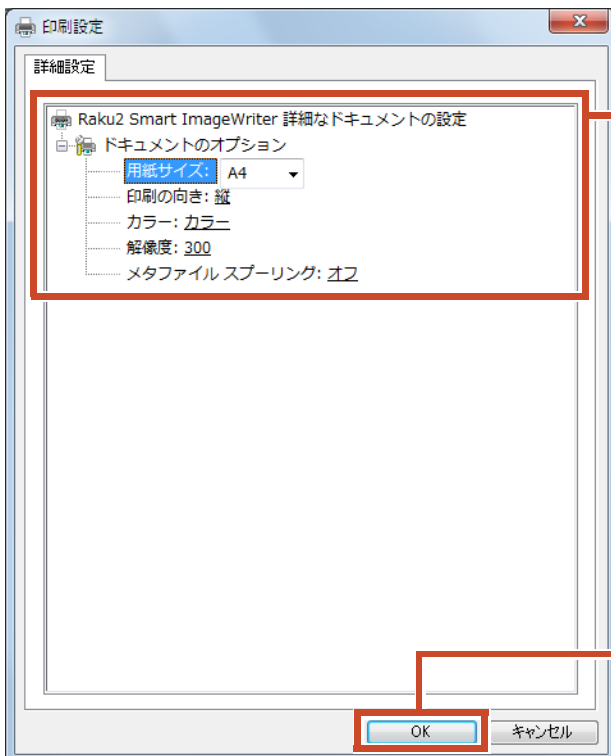
3



1. 「Raku2 Smart ImageWriter」を選択

2. クリック

4



1. 各項目を設定

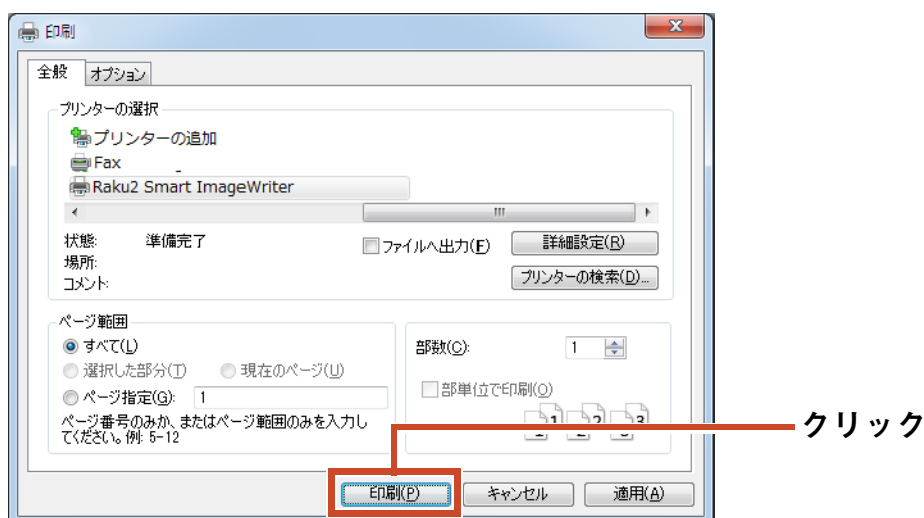
2. クリック

設定できる項目は以下のとおりです。

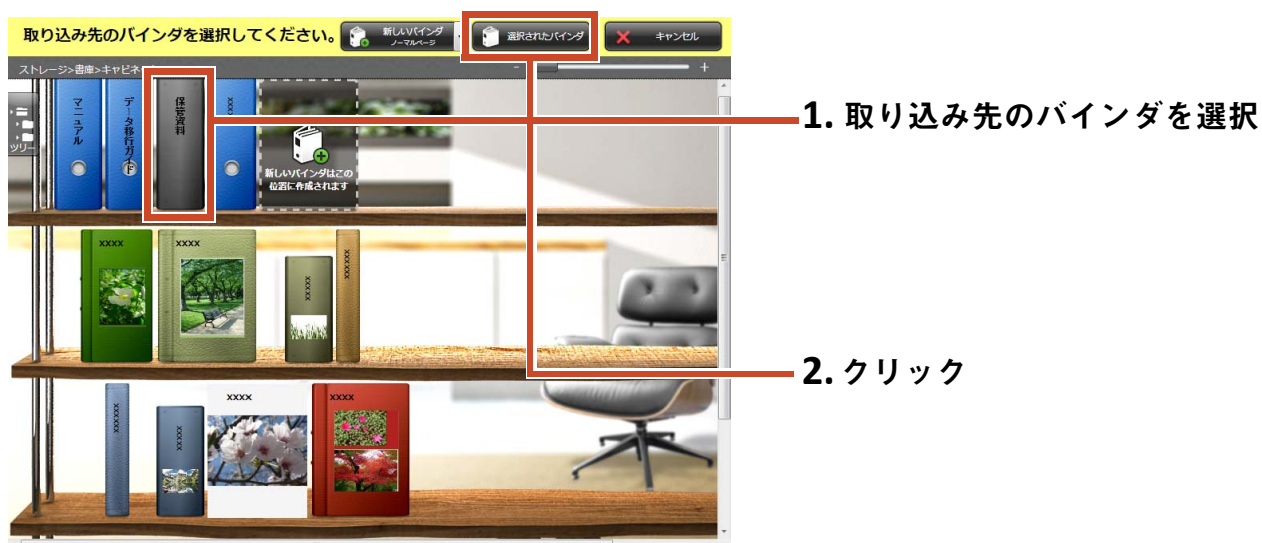
項目	説明
用紙サイズ (*1)	印刷時の用紙サイズを選択します。初期値は「A4」です。
印刷の向き (*1)	印刷の向きを選択します。初期値は「縦」です。
カラー (*1)	印刷時のカラーを選択します。初期値は「カラー」です。
解像度 (*1)	印刷時の解像度を選択します。初期値は「300」です。 高い解像度を選択すると、より鮮明なページとして表示されますが、ファイルサイズは大きくなります。
メタファイル スプーリング	通常は「オフ」を選択してください。

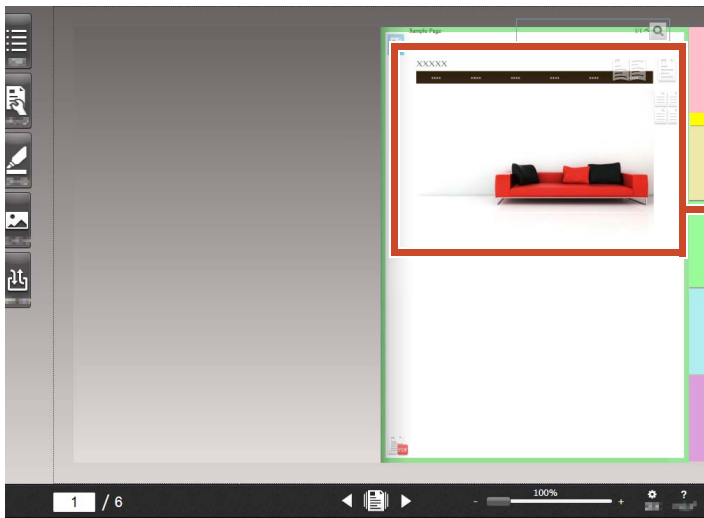
*1: アプリケーションによっては、変更が有効にならない場合があります。

5



6





指定したバインダにデータが追加されます。

3. Magic Desktop からデータを取り込みます

Magic Desktop は、ScanSnap で読み取ったデータやモバイル機器で作成したメモや画像を、仕事やプライベートなどのグループ単位に関連付けて整理できるソフトウェアです。また、ソーシャルネットワーキングサービス (*1) と連携し、デスクトップ上でコミュニケーションをとりながら文書を整理できます。

たまったデータは、Rack2-Filer Smart のバインダに保管しましょう。



*1: Magic Desktop に表示できるソーシャルネットワーキングサービスは、Facebook のみです。

操作

1



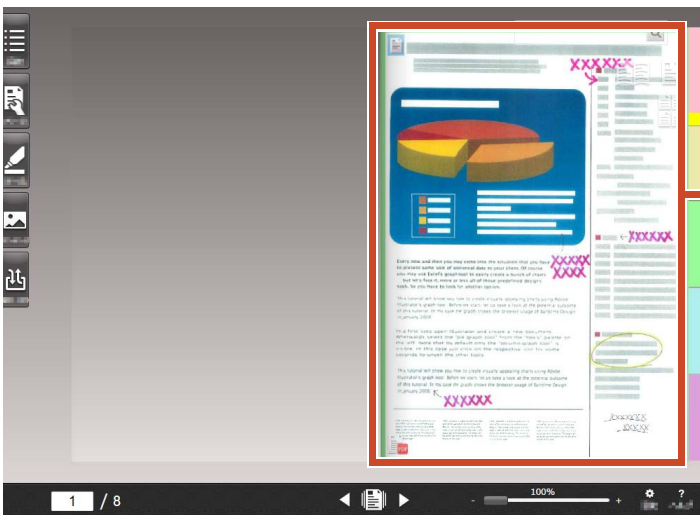
Magic Desktop のクリップボードでクリック

2



1. 取り込み先のバイндаを選択

2. クリック



指定したバイндаにデータが追加されます。

備考：ページの選択

バイндаを作成するときに、「取り込み先ページの種類の選択」の「毎回選択する」を選択した場合、操作2のあとに、ページの種類を選択する画面が表示されます。

4. ページを検索します

以下の情報から、目的のページを検索できます。

- バインダ名
- バインダの管理情報
- ページの文字（抽出 / 入力したテキスト情報）
- ツール情報の文字
- インデックスの文字
- バインダに設定したキーワード
- 目次情報
- 名刺情報



ここでは、ページの文字（テキスト情報）を検索する操作を紹介します。

4.1 テキスト情報を抽出します

ページに書かれた文字を検索するため、バインダごとにページのテキスト情報を抽出します。

備考：操作の有無

データの取り込み時に、テキスト情報を抽出する設定で取り込んだ場合、この操作は必要ありません。「ページを検索します」（35 ページ）に進んでください。

操作

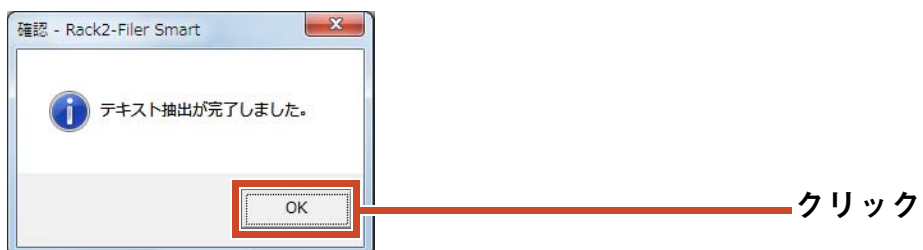
1



2



3



↓

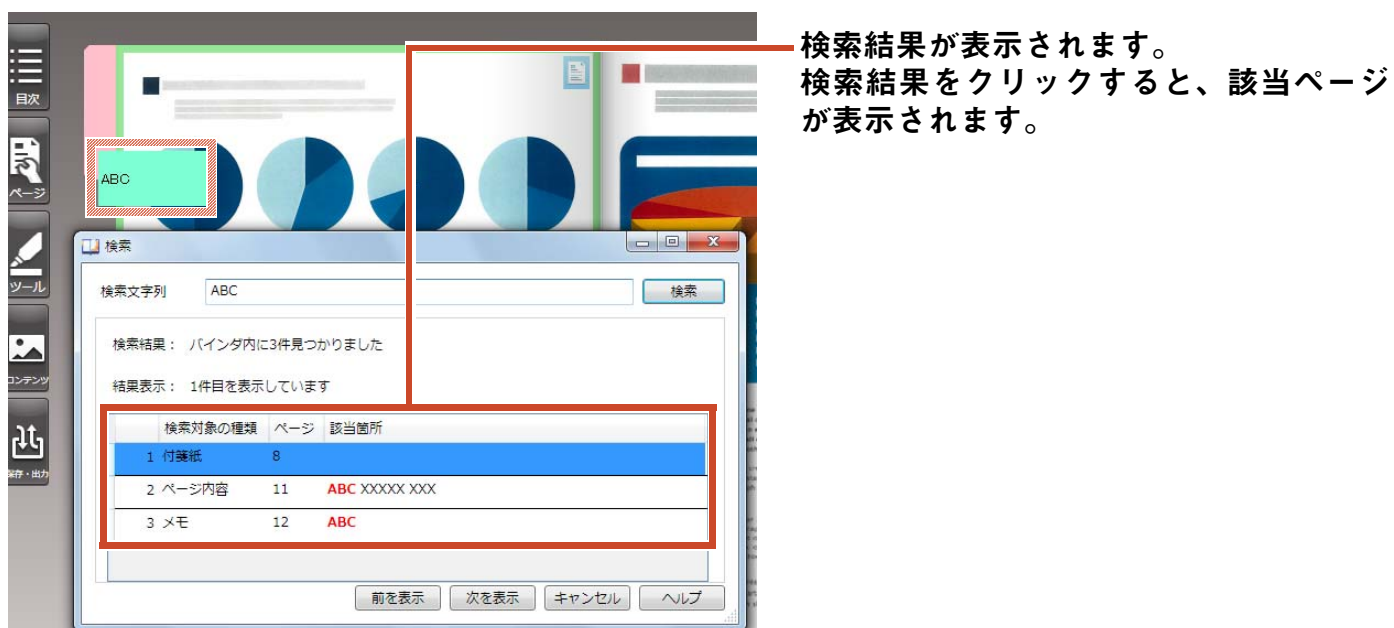
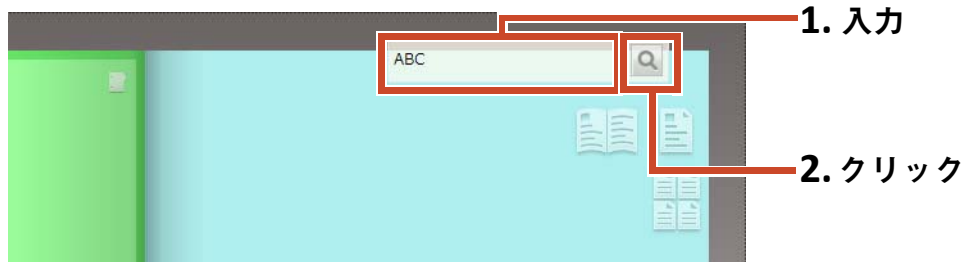
ページに書かれた文字が検索できるようになります。

4.2 ページを検索します

操作

ここでは、ビューアでページを検索する手順を説明します。

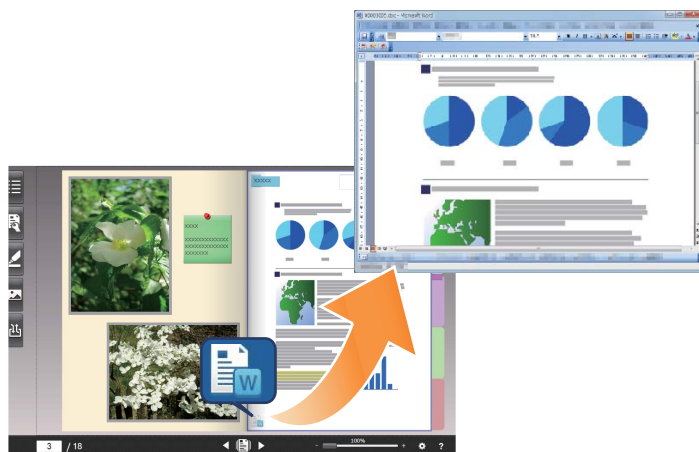
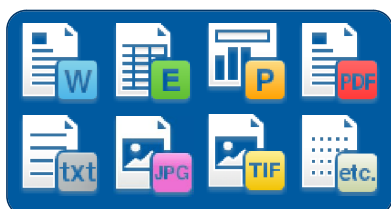
1



5. ページにコピーした電子ファイルを編集します


データを取り込むときにページにコピーした電子ファイルを、関連付けされているアプリケーションで修正できます。修正した内容はビューアのページにも反映されます。

電子ファイルをコピーしたページには、関連付けられているアプリケーションのアイコンが表示されています。



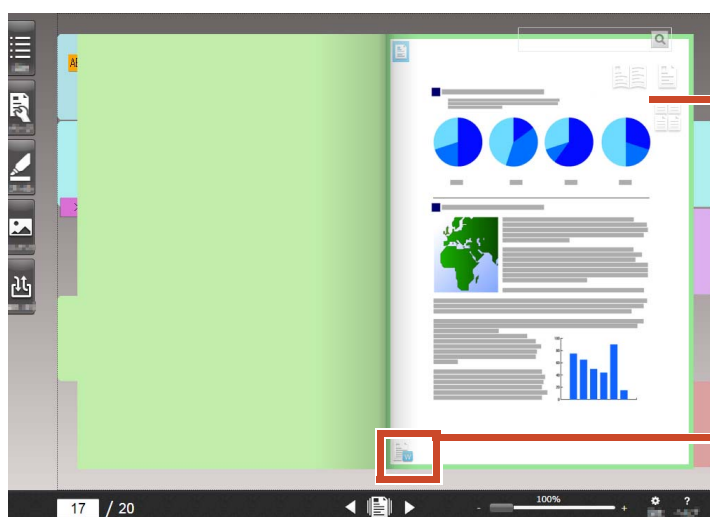
備考：ページにアイコンが表示されていない場合

以下の操作を行ってから電子ファイルを取り込むと、ページに取り込み元の電子ファイルがコピーされ、アイコンが表示されます。


- 1.ビューア画面の  をクリック
- 2.[環境設定]画面の[入力設定]タブをクリック
- 3.[スキャナ読み取り/ファイル取り込みの設定]で「電子ファイルを取り込む」を選択

操作

1



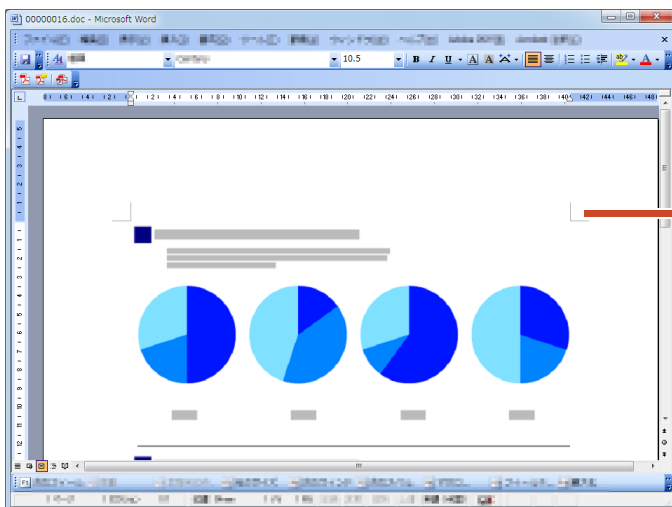
1. 電子ファイルをコピーしたページを表示

2.  をダブルクリック



電子ファイルに関連付けされているアプリケーションが起動されます。

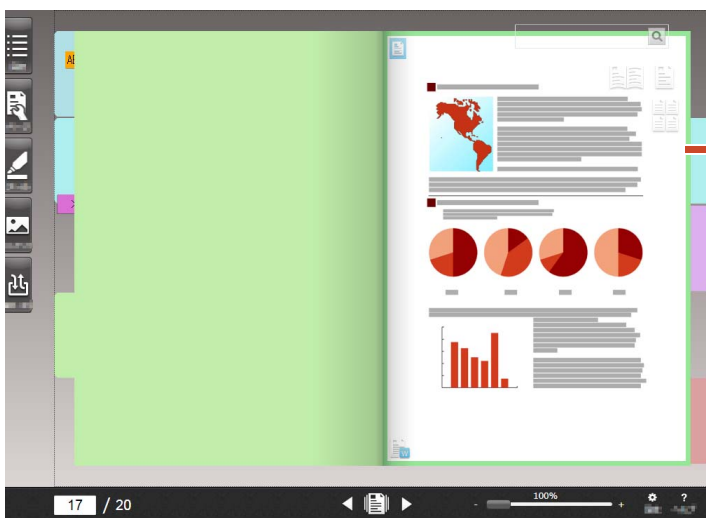
2



ファイルを修正して、上書き保存



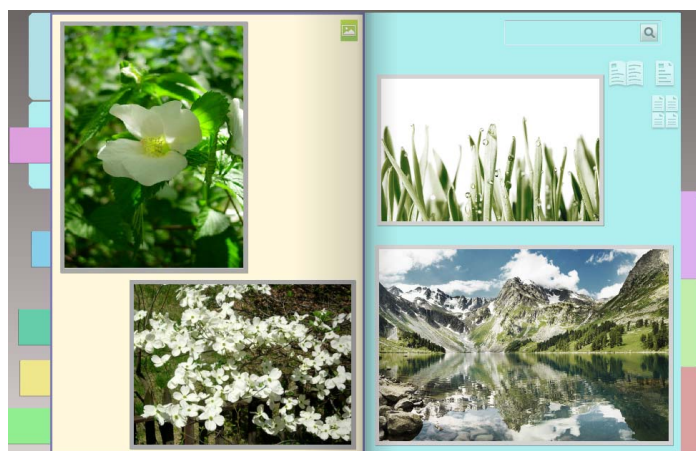
電子ファイルの内容が更新されます。



アプリケーションを終了すると、ページのイメージが更新されます。

6. 写真を整理します

1 ページに複数の写真をレイアウトして、アルバムを作成できます。



6.1 写真を取り込みます

取り込み先ページの種類を「写真ページ」に設定して、写真を取り込みます。

操作

1



2

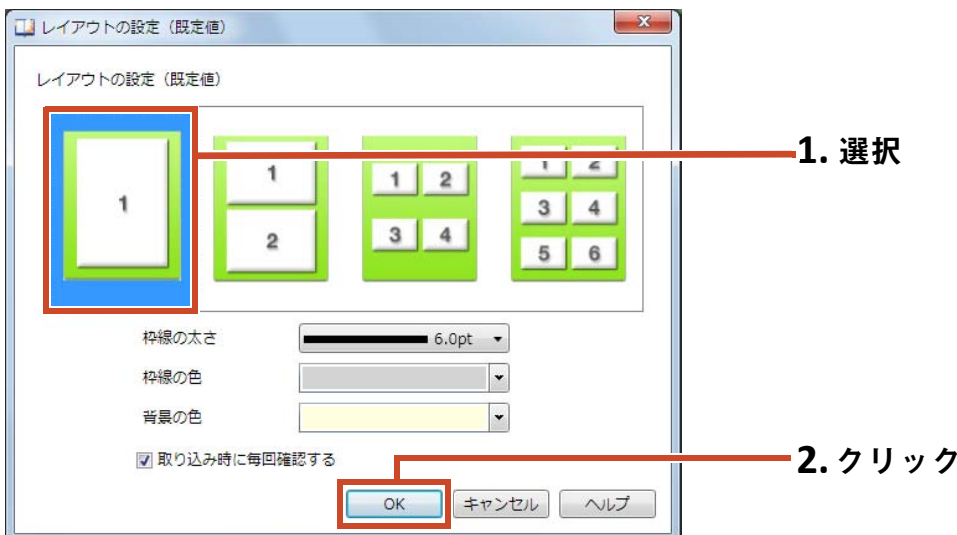


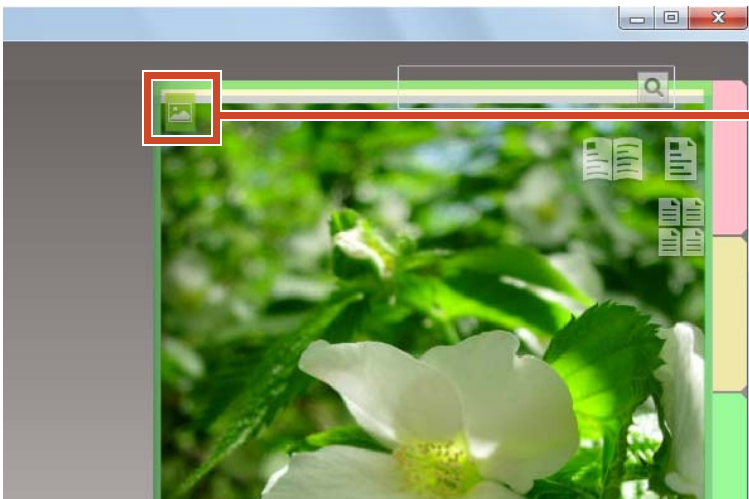
3


以下を順番に参照し、写真を取り込みます。

- 写真の電子ファイル（デジタルカメラのデータ）を取り込む場合
 1. 「取り込めるファイル形式」（70 ページ）
 2. 「ファイルを取り込みます」（10 ページ）
- ScanSnap で写真を読み取る場合
 1. 「ScanSnap で紙を読み取る場合」（73 ページ）
 2. 「紙を読み取ります」（12 ページ）

4



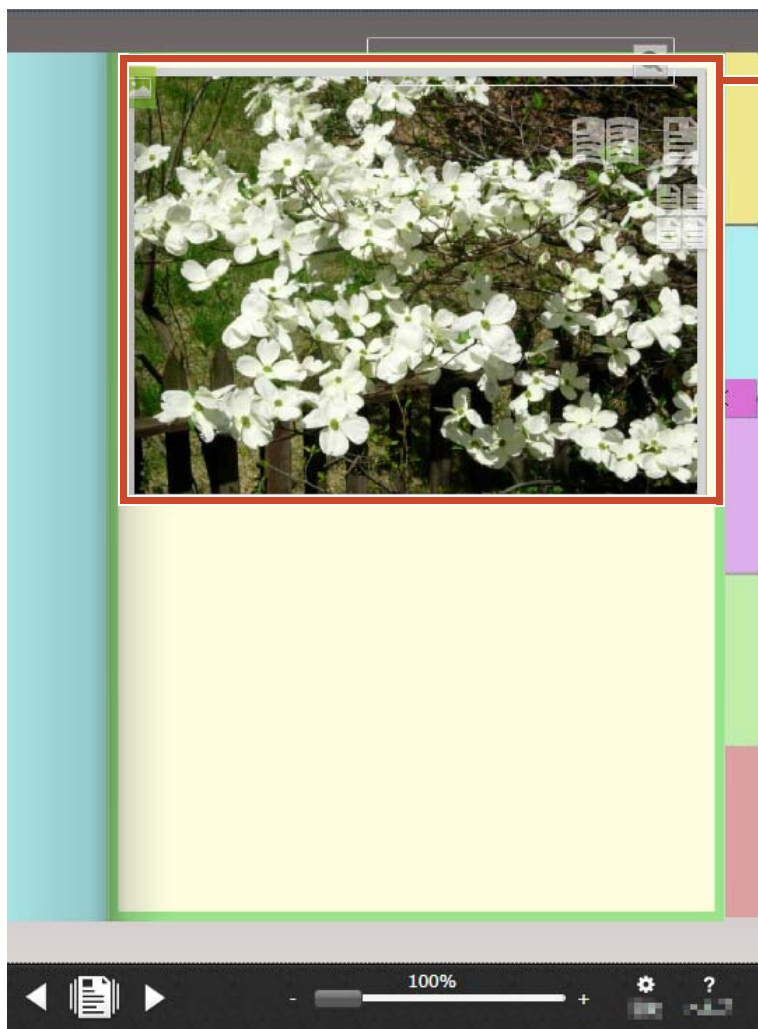


写真を取り込んだページには、写真ページのアイコン () が表示されます。

6.2 写真の位置や表示サイズを変更します

操作

1



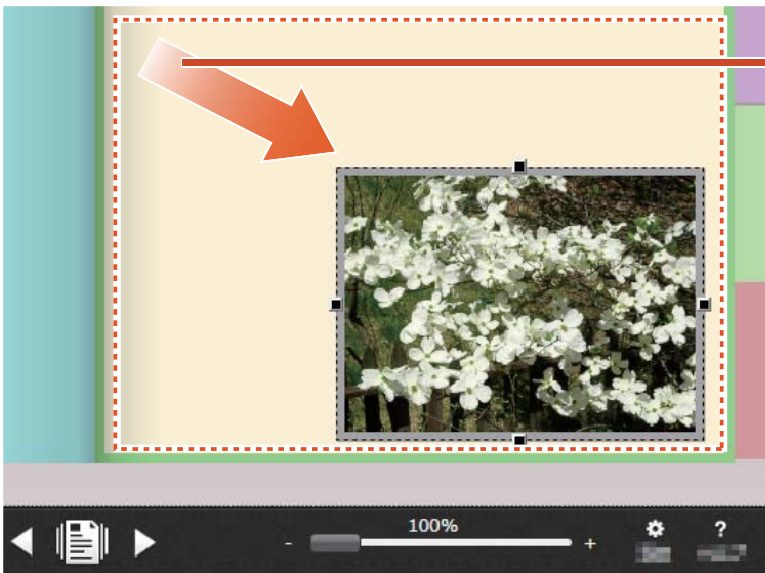
写真を選択

2



ドラッグ&ドロップし、移動

3

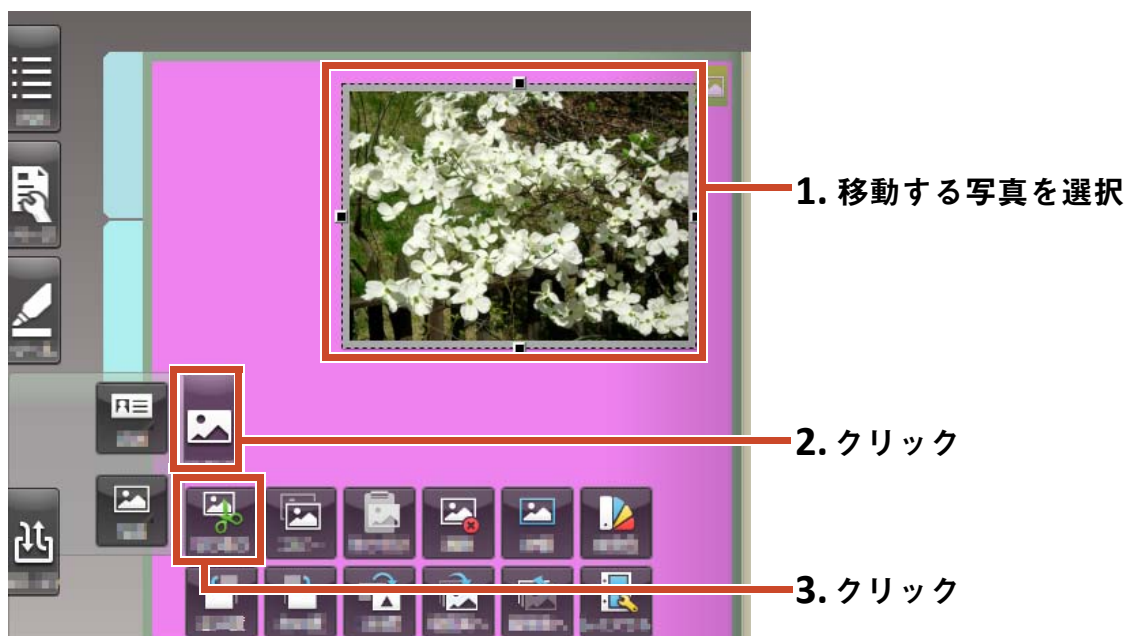


写真の外側の枠を選択し、ドラッグして表示サイズを変更

6.3 写真を別の写真ページに移動します

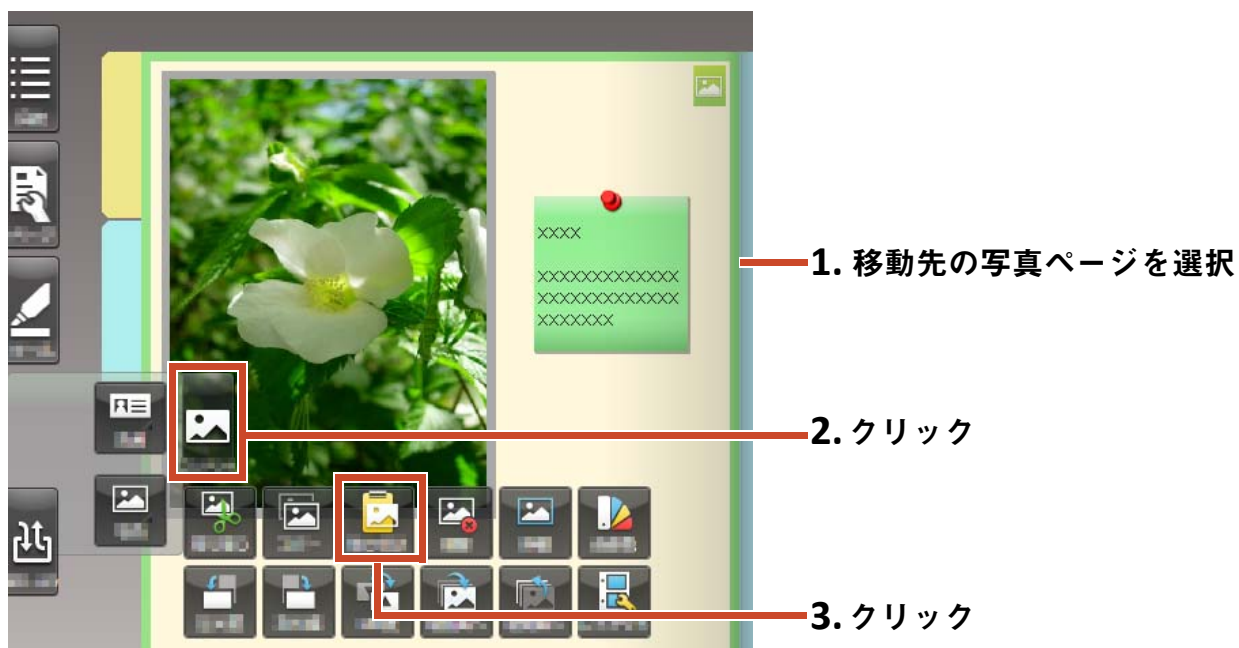
操作

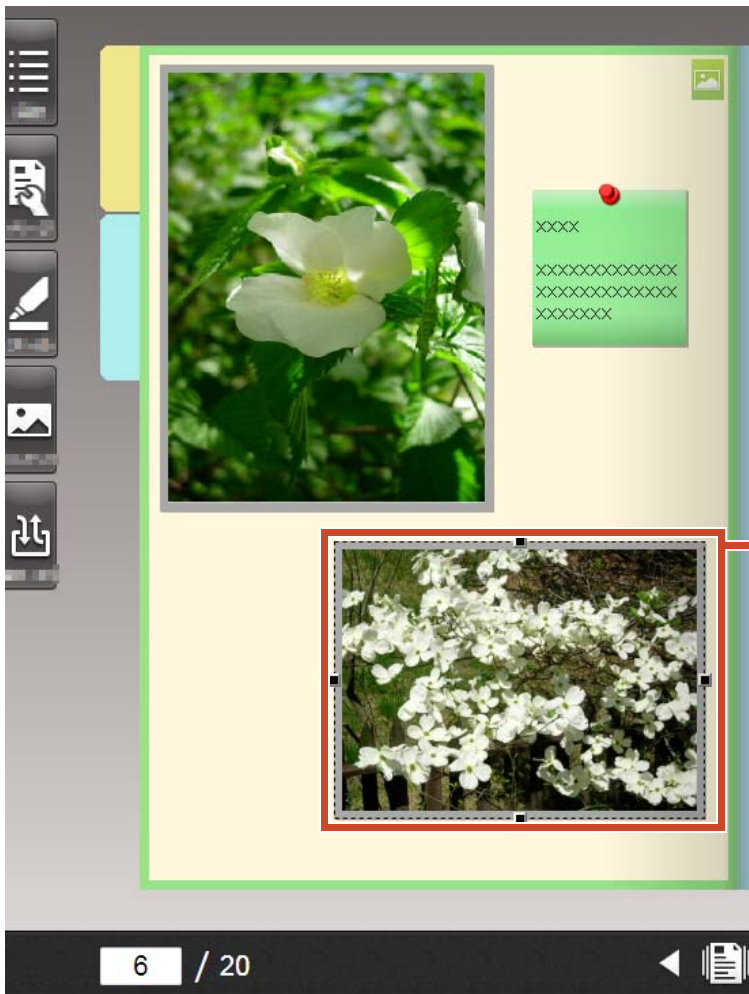
1



写真が切り取られます。

2





写真が貼り付けられます。

備考：写真の移動

切り取った写真は、別のバインダの写真ページに貼り付けることもできます。

7. モバイル機器へエクスポートします


モバイル機器のアプリケーション「Rack2-Filer Smart for iOS」(*1) または「Rack2-Filer Smart for Android」(*2) にバインダのデータをエクスポートして、閲覧したり、マーカーやページメモ（「簡易編集情報」といいます）を追加したりできます。



また、モバイル機器への持ち出し設定を有効にしてバインダをエクスポートすると(*3)、モバイル機器で追加した簡易編集情報をバインダに取り込むことができます。

*1: 「Rack2-Filer Smart for iOS」は、App Store で検索・ダウンロード（無償）してください。

*2: 「Rack2-Filer Smart for Android」は、Google Play で検索・ダウンロード（無償）してください。

*3: 持ち出されたパソコン上のバインダは閲覧のみ可能な状態となり、背表紙にマーク（) が付きます。

7.1 事前設定（初回のみ）

バインダをエクスポートする場合、以下の設定を行います。

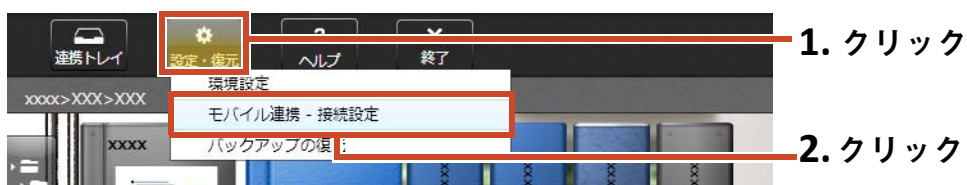
- 1 「エクスポートするときの動作を設定します」（45 ページ）
- 2 「持ち出し設定を有効にします」（46 ページ）

7.1.1 エクスポートするときの動作を設定します

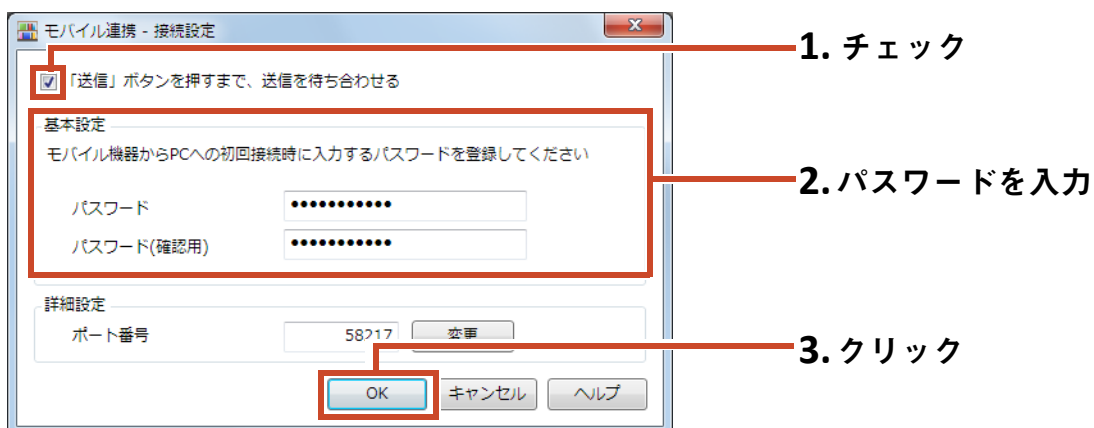
バインダをモバイル機器へエクスポートするときの動作を設定します。

操作

1



2

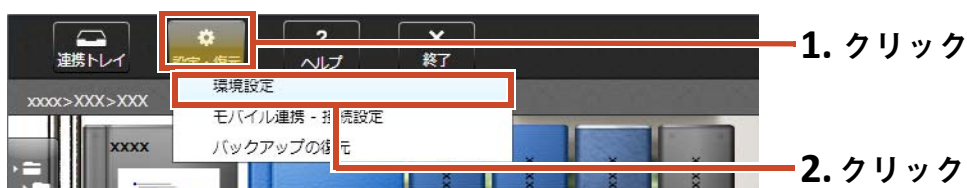


設定されます。

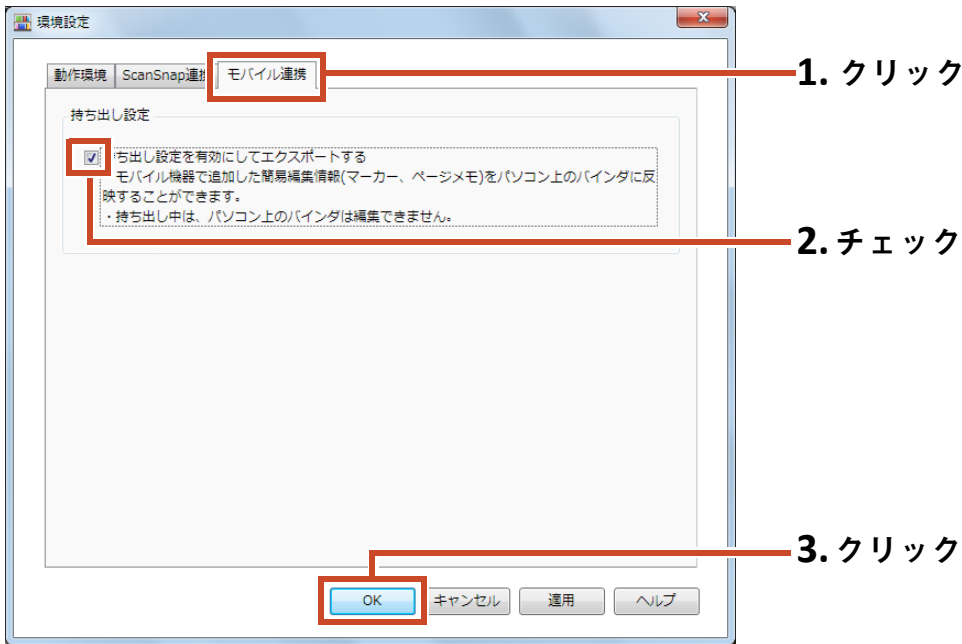
7.1.2 持ち出し設定を有効にします

操作

1



2

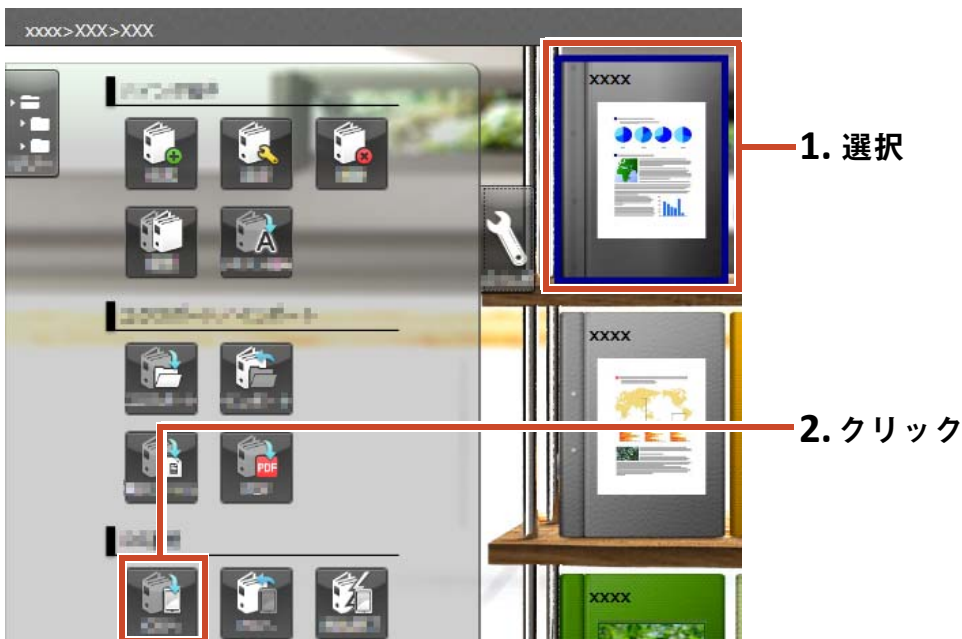


設定されます。

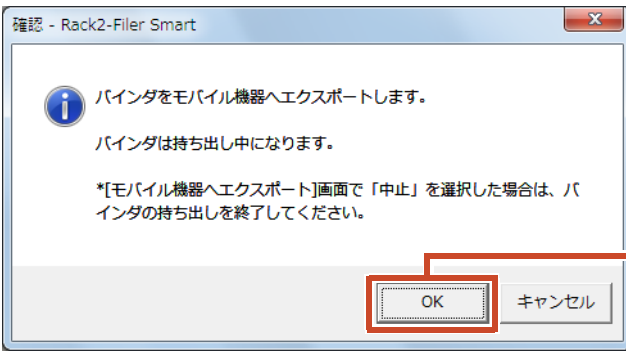
7.2 モバイル機器へデータをエクスポートします

ここでは、スマートフォンの画面で説明します。

1

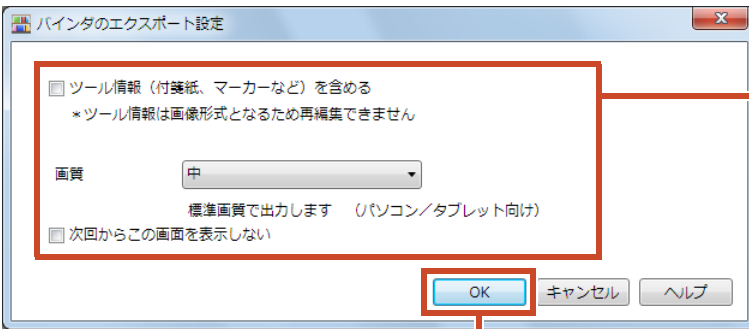


2



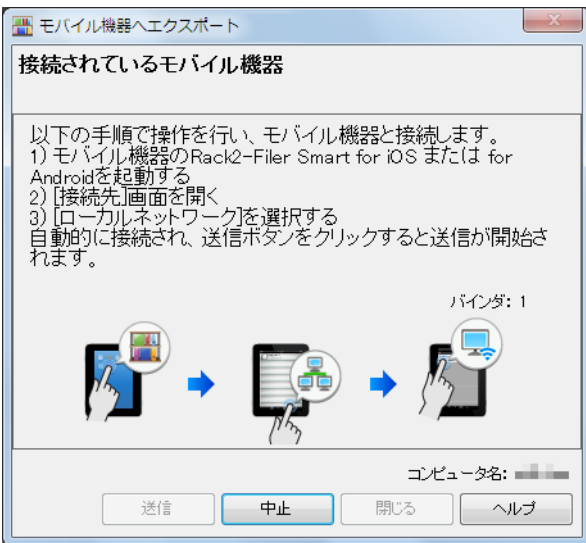
クリック

3

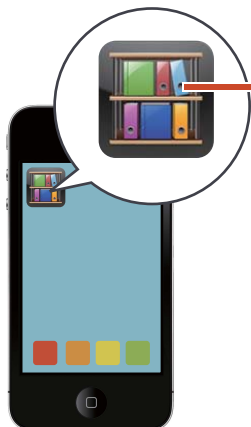


1. 各項目を設定

2. クリック

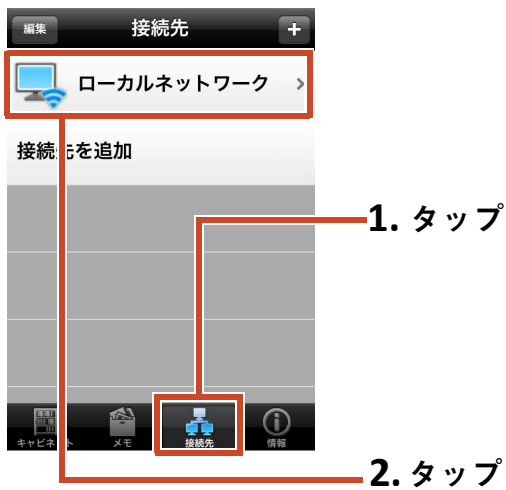


4



タップ

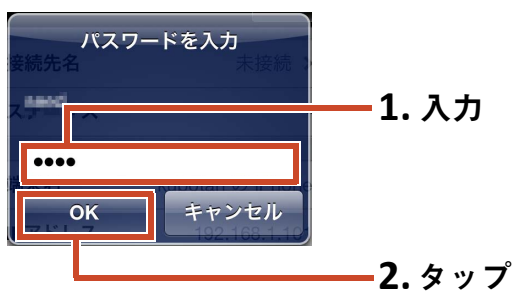
5 Rack2-Filer Smart for iOS の場合



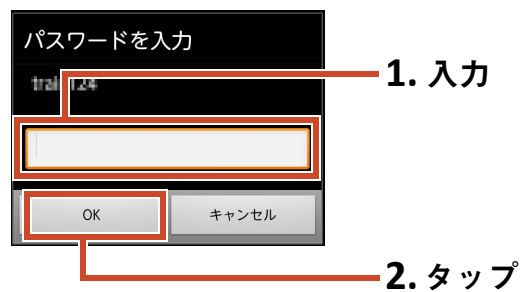
Rack2-Filer Smart for Android の場合



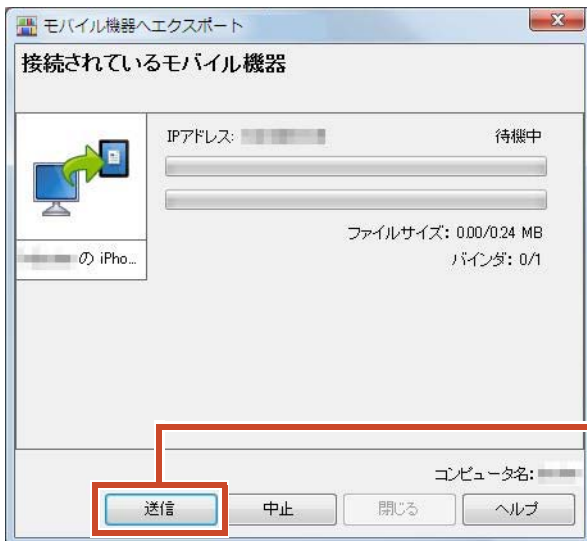
6 初回 / パスワードを変更した場合



初回 / パスワードを変更した場合



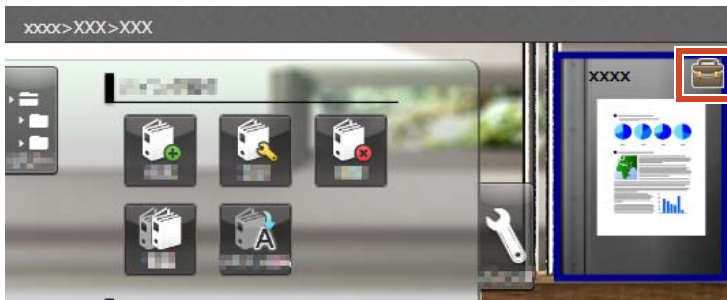
7




クリック



データがモバイル機器へ持ち出されます。



持ち出されたバインダは閲覧のみ可能な状態となり、表紙にマークが付きます。

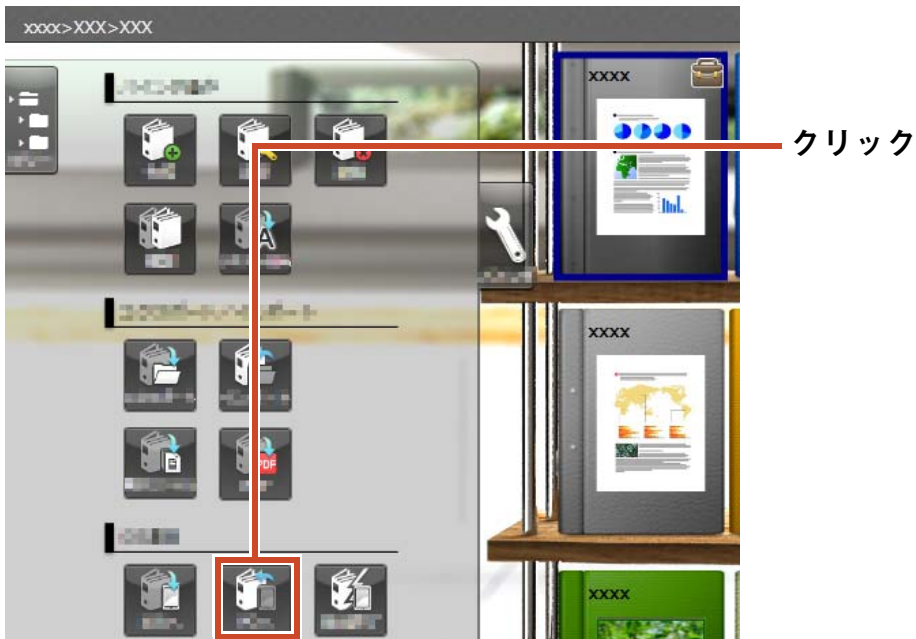
モバイル機器で  をタップして、内容を確認しましょう。

7.3 モバイル機器で追加したマーカーやページメモを取り込みます

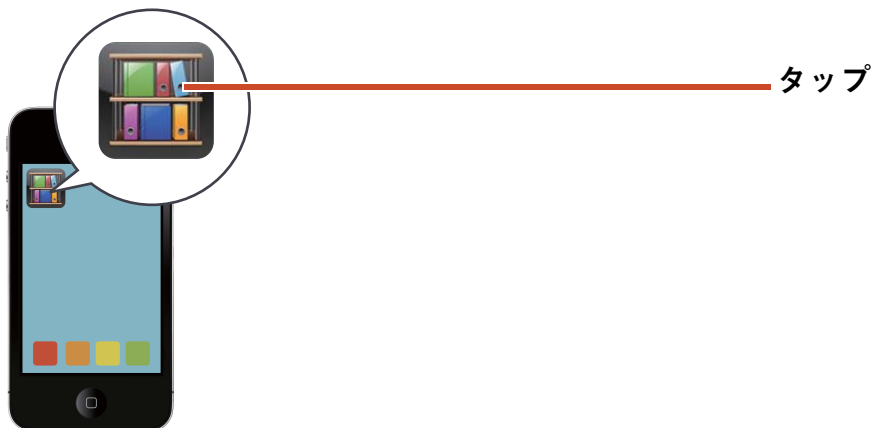
操作

ここでは、スマートフォンの画面で説明します。

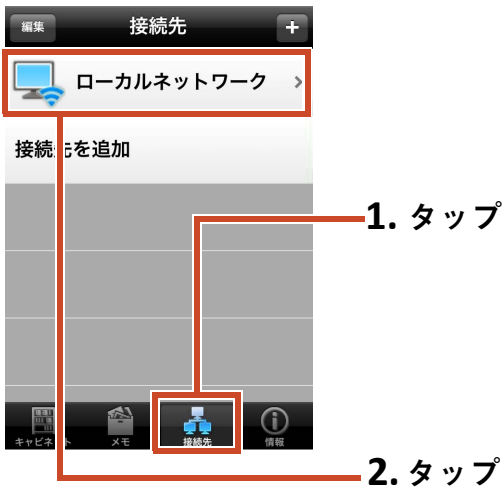
1



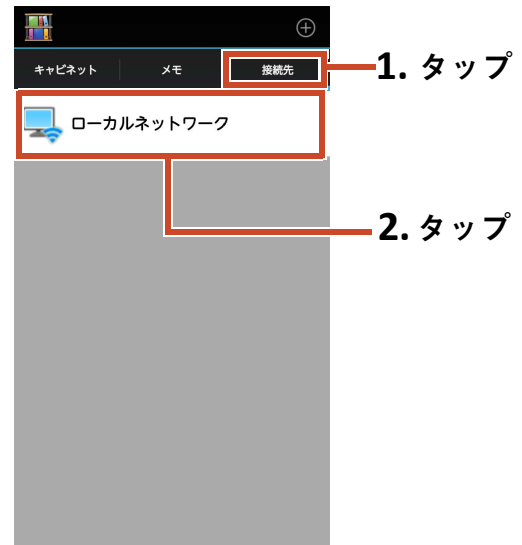
2



3 Rack2-File Smart for iOS の場合



Rack2-File Smart for Android の場合

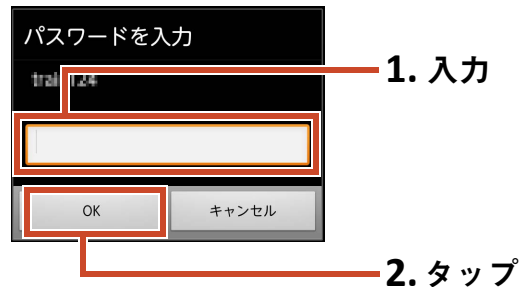


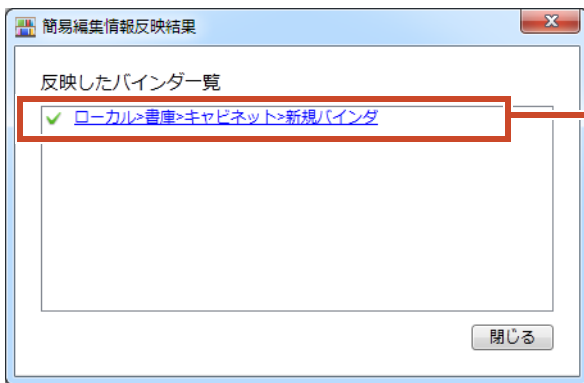
4 初回 / パスワードを変更した場合



モバイル機器で追加したマーカーやページメモが、パソコン側の元のバインダに反映されます。

初回 / パスワードを変更した場合



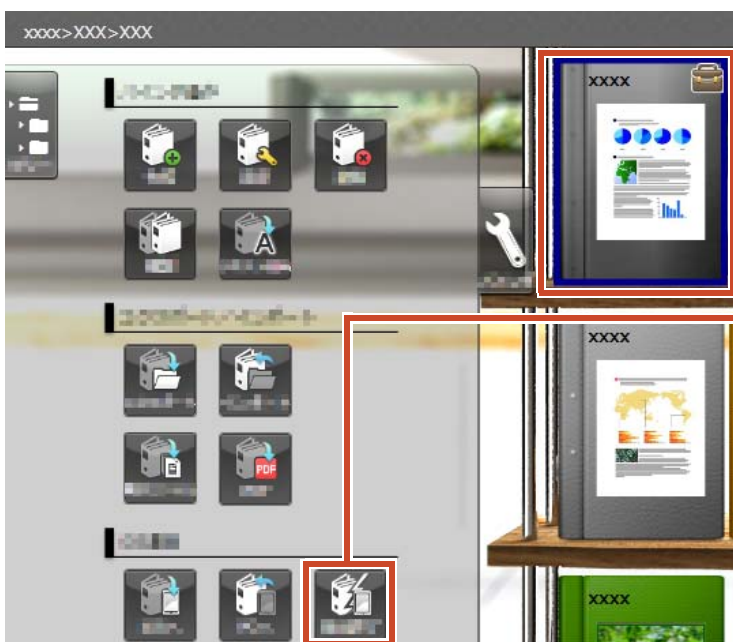


クリックし、反映結果を確認しましょう。

7.4 バインダの持ち出しを終了します

操作

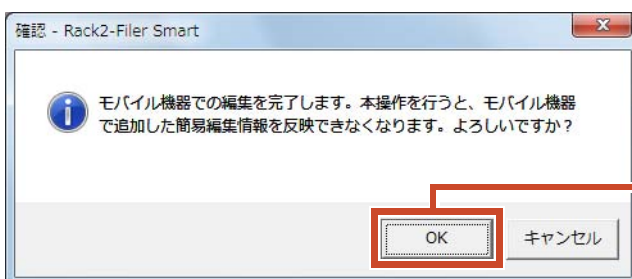
1



1. 選択

2. クリック

2



クリック



表紙のマークが消え、内容を編集できる状態になります。

8. クラウドストレージにバインダをアップロードします

WiFi 接続できない環境でも、バインダをクラウドストレージにアップロードすることで、他のパソコンやモバイル機器で閲覧 (*1) できます。

*1: パソコンの場合は閲覧のみです (バインダの編集はできません)。
モバイル機器の場合、バインダの簡易編集 (マーカーやページメモ) は可能です。ただし、クラウドストレージを経由して取得したバインダのため、パソコン上のバインダに簡易編集情報を反映することはできません。



クラウドストレージを利用して、バインダを受け渡す場合、以下の手順で行います。

1 受け渡し元での操作

1. バインダのアップロード先を作成します (56 ページ)
2. バインダをクラウドストレージにアップロードします (61 ページ)
3. クラウドストレージで、受け渡し先をフォルダに招待し、共有します
詳細は、クラウドストレージのヘルプを参照してください。

2 受け渡し先での操作

1. クラウドストレージで、共有フォルダの招待に同意します
2. クラウドストレージ上のフォルダをストレージに設定します (56 ページ)
3. クラウドストレージのバインダを閲覧します
ローカルストレージのバインダを閲覧する方法と同じです。

クラウドストレージには、以下が利用できます。

- Dropbox
- SugarSync

ここでは、Dropbox をクラウドストレージに設定する例で説明します。

SugarSync をクラウドストレージに設定する操作については、『Rack2-Filer Smart ヘルプ』の「キャビネット画面ヘルプ」を参照してください。

備考: 操作を行う前に

「クラウドストレージを利用する場合」(71 ページ) を参照してください。

8.1 バインダのアップロード先を作成します

以下の手順で、バインダのアップロード先を作成します。

- 1.クラウドストレージに Rack2-Filer Smart 用のフォルダを作成します (56 ページ)
- 2.クラウドストレージ上のフォルダをストレージに設定します (56 ページ)
- 3.書庫を作成します (59 ページ)
- 4.キャビネットを作成します (60 ページ)

8.1.1 クラウドストレージに Rack2-Filer Smart 用のフォルダを作成します

- 自分のアカウントでフォルダを作成する場合

Web ブラウザで Dropbox にログインし、Dropbox 直下に Rack2-Filer Smart 用のフォルダを作成してください。

作成したフォルダを他のユーザーと共有することもできます。詳細は、Dropbox のヘルプを参照してください。

注意：共有する場合

作成したフォルダ配下のフォルダ (LIB_XXXXXXXX、CAB_XXXXXXXX など) は共有しないでください。

- 他のユーザーが作成したフォルダをストレージに設定する場合

Web ブラウザで Dropbox にログインし、共有フォルダの招待に同意します。

詳細は、Dropbox のヘルプを参照してください。

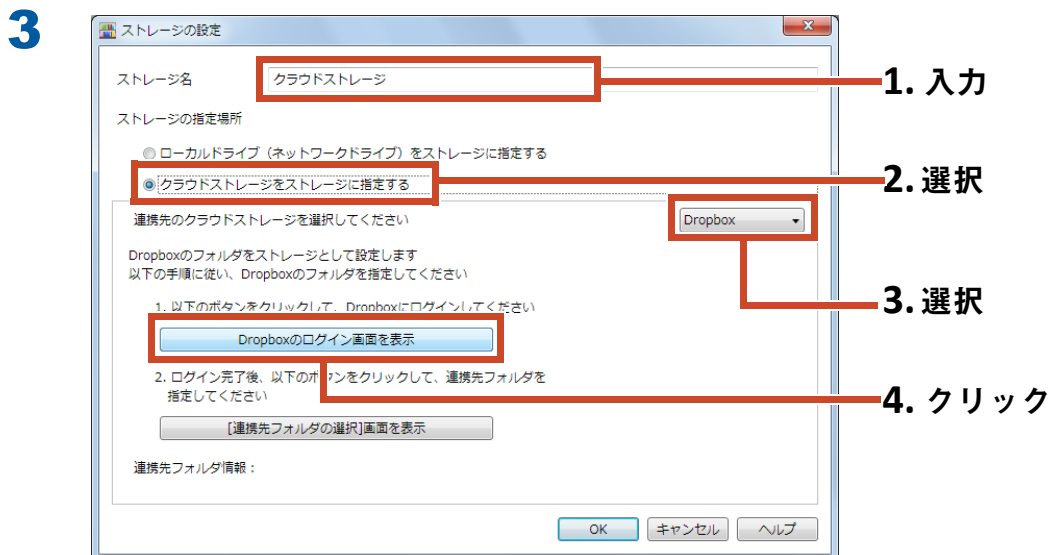
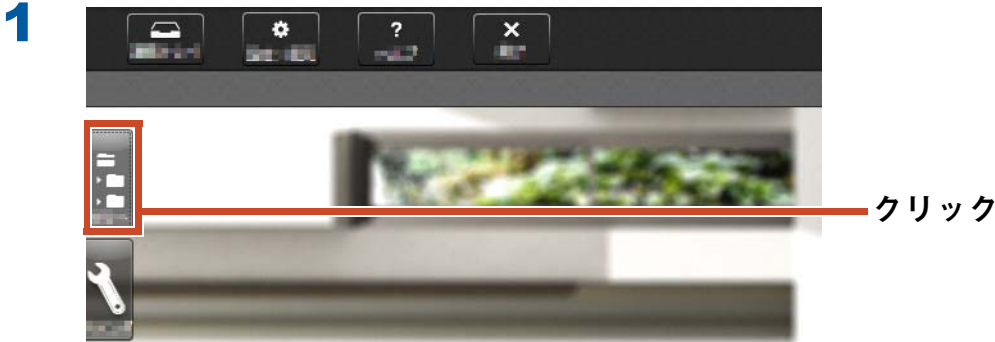
8.1.2 クラウドストレージ上のフォルダをストレージに設定します

クラウドストレージ上に作成したフォルダをストレージに設定します。

備考：初めて Dropbox にログインする場合

特定のアカウントで Rack2-Filer Smart から Dropbox にログインすると、アクセスを許可するかどうかを確認する画面が表示されます。この場合、アクセスを許可してください。一度許可すると、この画面は表示されなくなります。

操作



4



1. アカウント情報を入力

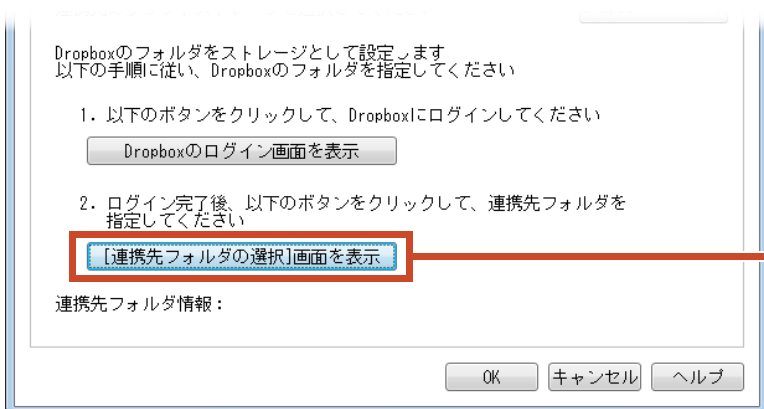
2. クリック

5



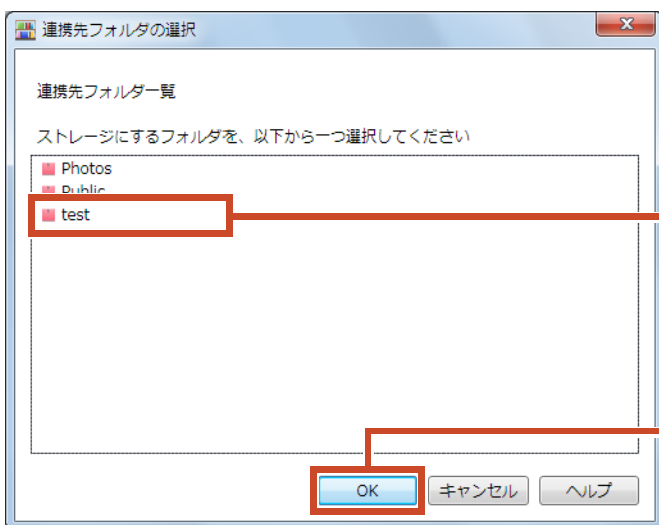
1. クリック

6



1. クリック

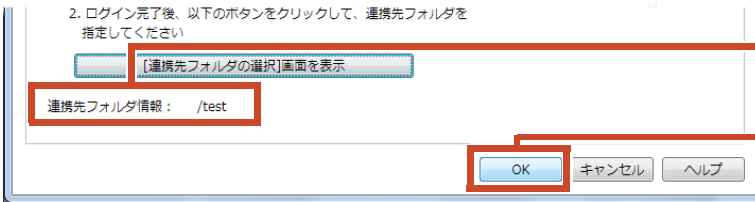
7



1. クリック

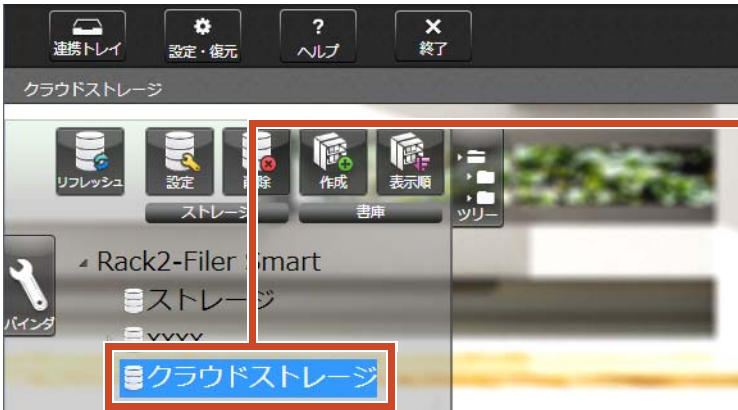
2. クリック

8



1. 「連携先フォルダ情報」を確認

2. クリック



ストレージが設定されます。
続けて、ストレージに書庫を作成しましょう。

8.1.3 書庫を作成します

操作

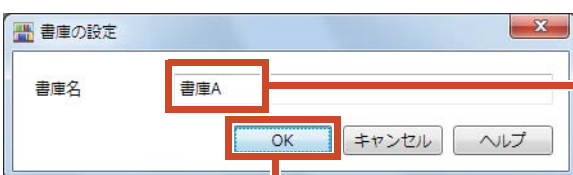
1



1. 選択

2. クリック

2



1. 入力

2. クリック



書庫が作成されます。
続けて、ストレージにキャビネットを作成しましょう。

8.1.4 キャビネットを作成します

操作

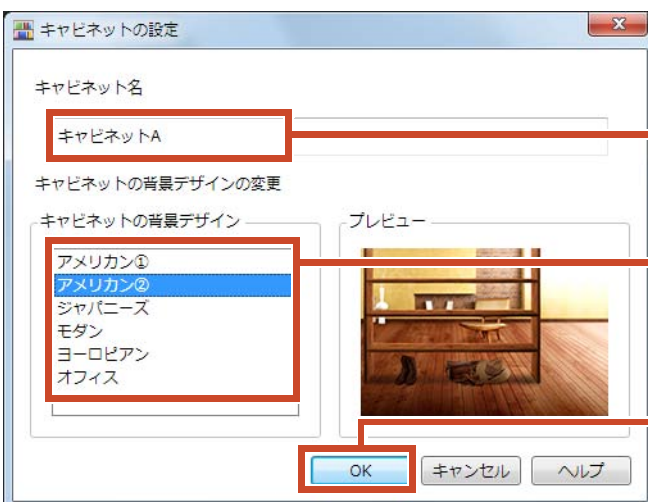
1



1. 選択

2. クリック

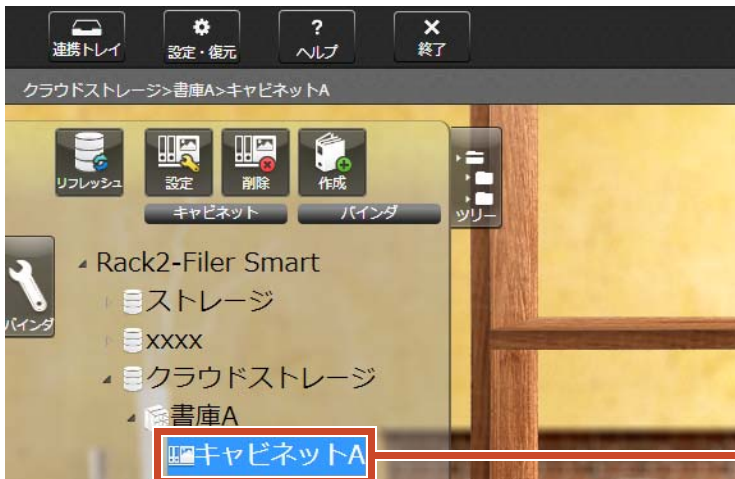
2



1. 名前を入力

2. 選択

3. クリック

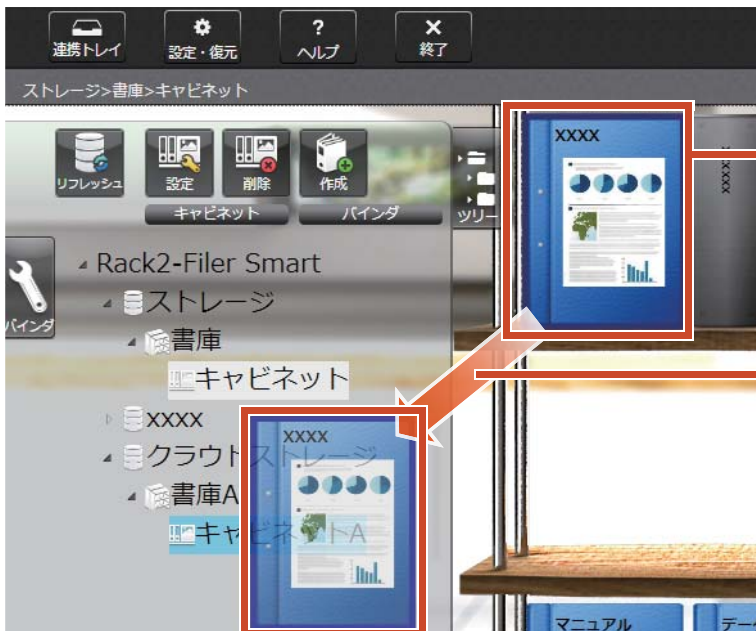


キャビネットが作成されます。

8.2 バインダをクラウドストレージにアップロードします

操作

1



1. 選択

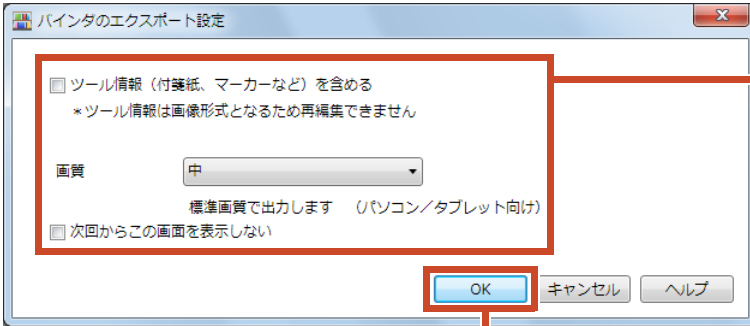
2. クラウドストレージのキャビネットへドラッグ&ドロップ

2



クリック

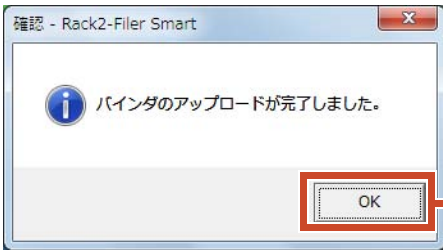
3



1. 各項目を設定

2. クリック

4



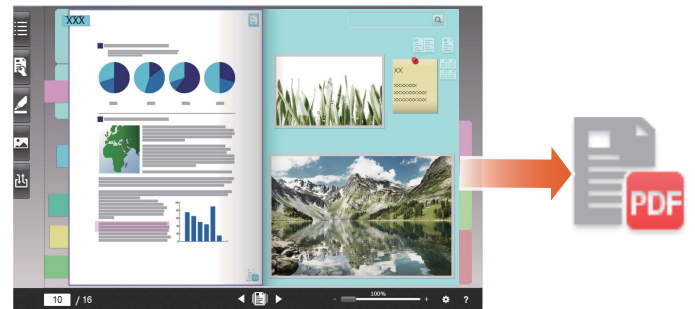
クリック



アップロード先のキャビネットをクリックして、バインダを確認しましょう。

9. ページを PDF に変換して保存します

PDF に変換すると、Adobe Reader などの PDF 閲覧ソフトでデータを閲覧できます。Rack2-Filer Smart がインストールされていないパソコンでも、PDF 閲覧ソフトがインストールされていればブラウザのページを閲覧できます。

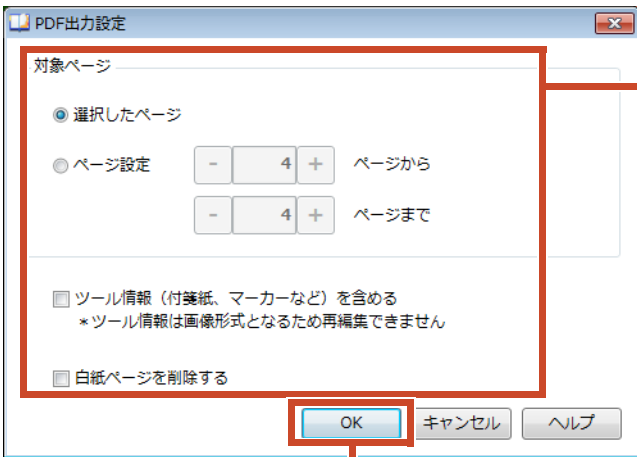


操作

1



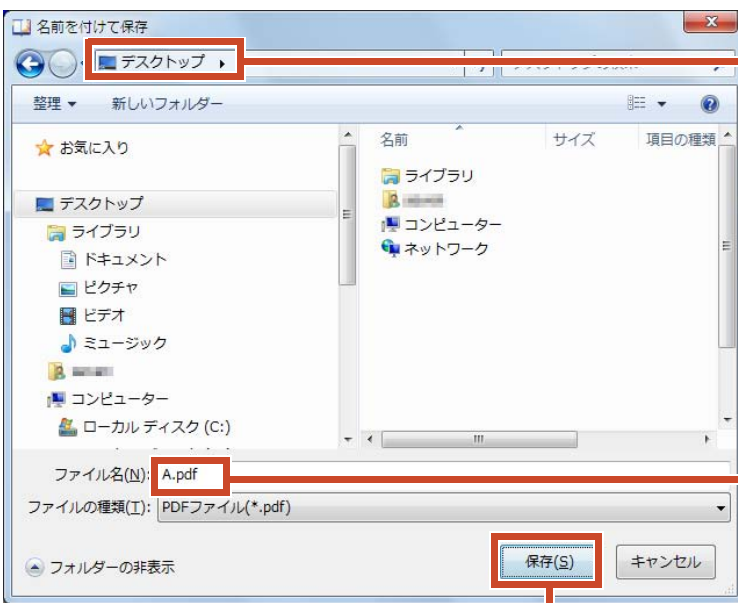
2



1. 各項目を設定

2. クリック

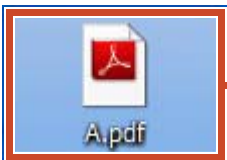
3



1. 保存先を選択

2. 名前を入力

3. クリック



指定した場所に PDF が保存されます。

10. バインダを複製 / 移動します

キャビネット画面で、バインダを複製したり、他のキャビネットへ移動したりして、整理できます。



10.1 バインダを複製します

操作

1



1. 選択

2. クリック

2



クリック

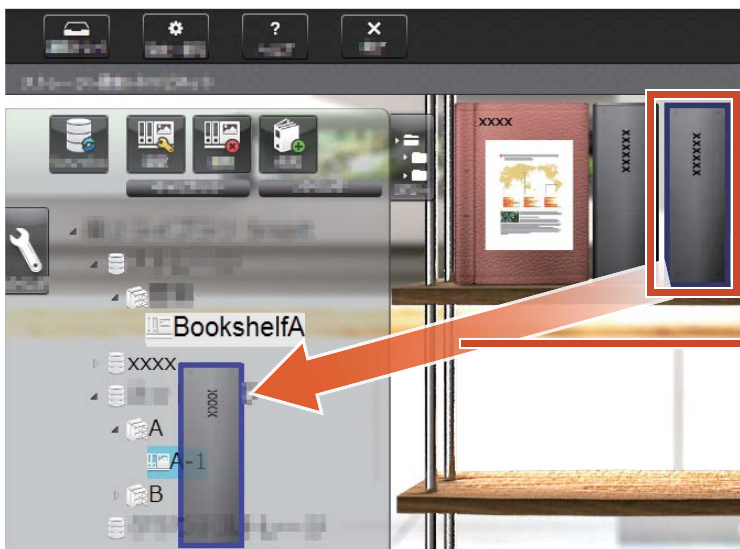


バインダが複製されます。

10.2 バインダを他のキャビネットに移動します

操作

1



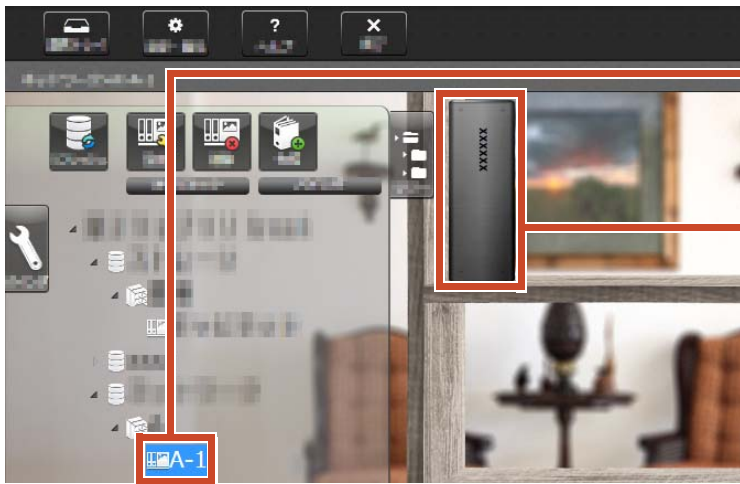
1. 選択

2. 移動先のキャビネットにドラッグ&ドロップ



バインダが移動されます。

移動先のキャビネットをクリックして、バインダを確認しましょう。



1. クリック

2. 確認

11.他にもこんなことができます

本書で紹介した機能以外にも、できることがまだまだあります。

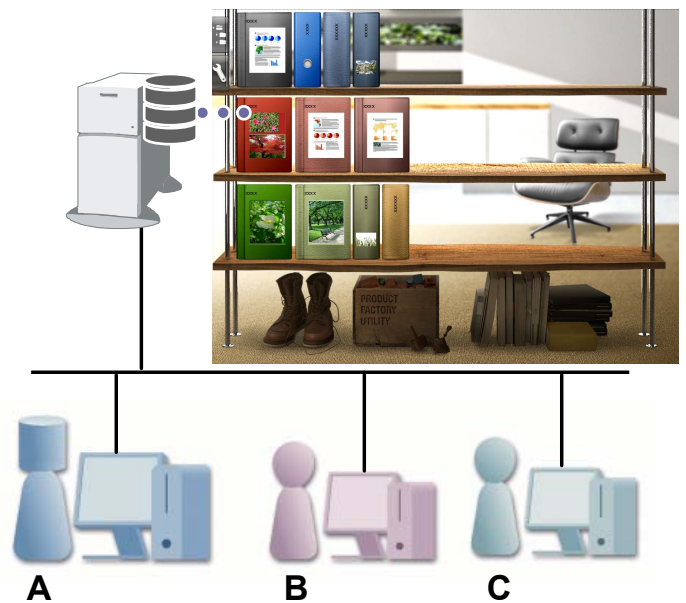
備考：すべての機能を知るには

『Rack2-Filer Smart ヘルプ』を参照してください。

ネットワークで共有

ストレージに、Windows サーバの共有フォルダを設定すると、複数人で Rack2-Filer Smart のデータを共有できます。部署やグループ単位でデータを共有している場合は、共有フォルダを利用すると便利です。

ネットワークを利用してデータを共有する場合は、「ネットワークドライブを利用する場合」（71 ページ）を参照してください。



メール送信

バイндаのページを PDF に変換してメール送信できます。

ページに追加したツール情報を表示したまま送信することもできます。



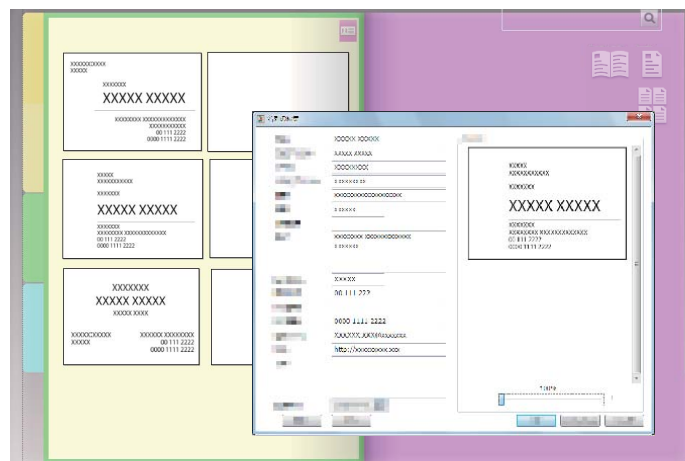
名刺の整理

- 名刺の取り込み時に「名刺ページ」を指定すると、1ページに最大8枚の名刺を表示して管理できます。
- 氏名や会社名などの名刺情報を設定すると、その情報で名刺を検索できます。
- CardMinder (*1) で管理している名刺情報を取り込むこともできます。

*1: CardMinder は、ScanSnap に添付されている名刺読み取りアプリケーションです。

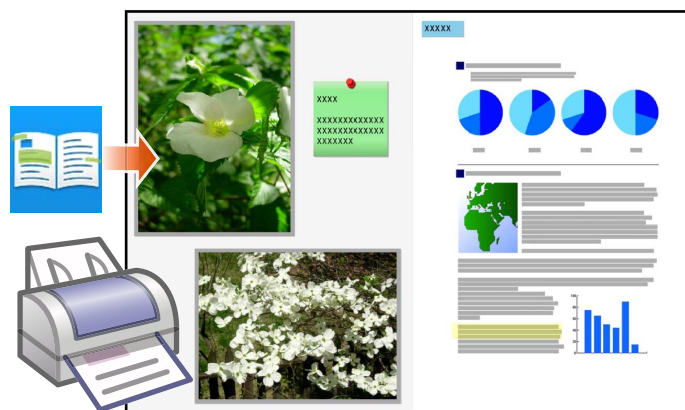
Rack2-Filer Smart に名刺情報を取り込むことができるのは、以下の ScanSnap に添付されている CardMinder のみです。

ScanSnap iX500 / SV600



印刷オプションの選択

付箋紙やスタンプを表示したまま印刷したり、ページを見開き印刷したりできます。



本製品の仕様と注意事項

管理できるデータの数

Rack2-Filer Smart で管理できるデータの数は、以下のとおりです。

- ・「ページ」は、1 個のバインダの中に 1,000 ページまで追加できます。
- ・「バインダ」は、1 個のキャビネットの中に最大 84 個まで作成できます。
バインダの置き方や幅によって、作成できる数が異なります。
- ・「キャビネット」は、1 個の書庫の中に最大 20 個作成できます。
- ・「書庫」は、1 個のストレージの中に最大 6 個作成できます。
- ・ストレージは、最大 4 個設定できます。

取り込めるファイル形式

サポートしているファイル形式は、以下のとおりです。

ファイル形式		拡張子
BMP	Windows および OS/2 ビットマップ	.bmp
PCX	Zsoft 形式 (シングルページ)	.pcx
JPG , JPEG	JPEG 形式	.jpg, .jpeg
TIF,TIFF	TIFF 形式 (マルチページを含む。ZIP 圧縮形式は除きます。)	.tiff, .tif
WMF	Windows メタファイル	.wmf
PSD	Photoshop 3.0 形式	.psd
PNG	Portable Network Graphics 形式	.png
TGA	Truevision TARGA 形式	.tga
PCD	Photo CD 形式	.pcd
FPX	FlashPix 形式	.fpx
PDF	PDF 形式 (Rack2-Filer Smart で出力された PDF、または ScanSnap で読み取った PDF。それ以外の PDF は、関連付けアプリケーションの印刷機能で取り込まれます。)	.pdf

上記の他に、印刷機能を持つアプリケーションに関連付けされている以下のファイルもサポートしています。

ファイル形式		拡張子
Word	Microsoft Word 形式 (*1)	.doc, .docx
Excel	Microsoft Excel 形式 (*1)	.xls, .xlsx
PowerPoint	Microsoft PowerPoint 形式 (*1)	.ppt, .pptx
TXT	Text ファイル形式 (*1)	.txt

*1: Microsoft® Office® 2003 以降で、Visual Basic® for Applications (Office 共有機能) がインストールされている必要があります (通常、Microsoft® Office® をインストールすると、Visual Basic® for Applications も一緒にインストールされます)。

ストレージ

以下のフォルダをストレージに指定できます。

指定先	範囲
ローカルドライブ (*1)	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵ハードディスク 外付けハードディスク
ネットワークドライブ	<ul style="list-style-type: none"> Windows サーバ
クラウドストレージ	<ul style="list-style-type: none"> Dropbox SugarSync

*1: USB メモリは指定できません。

● ネットワークドライブを利用する場合

ストレージにネットワークドライブを利用すると、複数台のパソコンでバインダを共有 (ネットワーク共有) できます。

- 他のパソコンで操作している書庫 / キャビネットは、操作が禁止される場合があります。
- 他のパソコンで開いているバインダは、編集できません (閲覧のみできます)。

注意: ネットワークドライブを利用する場合

Rack2-Filer Smart をインストールしたコンピュータに保存されているストレージをネットワーク共有する運用は、サポートしていません。

● クラウドストレージを利用する場合

- クラウドストレージのバインダは、閲覧と削除のみできます。その他の操作はできません。

- ストレージに設定できるフォルダは、Dropbox および SugarSync で 1 つずつです。
- クラウドストレージの共有フォルダにアクセス権限を設定すると、他のユーザーはバインダのアップロードおよび削除ができなくなります（閲覧のみできます）。
- クラウドストレージのバインダを削除した場合、完全に削除されます（ごみ箱へは移動されません）。

注意：クラウドストレージを利用する場合

- ブラウザなどでクラウドストレージにアクセスして、Rack2-Filer Smart のデータを変名 / 移動 / 削除しないでください。

Rack2-Filer Smart のデータを Rack2-Filer Smart 以外で操作すると、製品の動作に影響を及ぼします。

- クラウドストレージのクライアントアプリケーションで、Rack2-Filer Smart のデータに同期を設定しないでください。
 - パソコンとクラウドストレージで同期されたデータを追加 / 変更 / 削除すると、Rack2-Filer Smart の動作に影響を及ぼします。
 - クライアントアプリケーションの同期によって、パソコンの容量をひっ迫するおそれがあります。
 - クラウドストレージ上で、同期されたフォルダに共有を設定すると、データの不整合が発生するおそれがあります（たとえば、他のユーザーがクラウドストレージ上の共有フォルダに変更を加えると、パソコンの中のデータも更新されます）。

データの自動バックアップ / 復元

ローカルドライブやネットワークドライブにストレージを作成した場合、Rack2-Filer Smart のデータ（バインダ）を自動でバックアップできます。パソコンやハードディスクの故障などに備えて、データを自動バックアップしておくことをお勧めします。また、自動バックアップしたバインダは復元できます。

詳細は、『Rack2-Filer Smart ヘルプ』の「キャビネット画面ヘルプ」－「仕様」－「自動バックアップ」を参照してください。

ScanSnap で紙を読み取る場合

読み取り設定でパスワードを付けると、名刺ページ、写真ページに取り込めません。

●名刺を読み取る場合

- 名刺の両面を取り込む場合、裏面が白紙の名刺が混在していると、表面と裏面がセットで正しく取り込まれないことがあります。白紙ページを自動的に削除しないように ScanSnap で設定してください。設定方法は、ScanSnap のマニュアルを参照してください。

●写真を読み取る場合

- 大切な写真や薄い原稿、折れや破れのある原稿を直接 ScanSnap にセットして読み取ると、原稿を傷付けたり、正常に読み取れなかったりする場合があります。A3 キャリアシートにセットして読み取ることをお勧めします。

A3 キャリアシートの使用については、ScanSnap のマニュアルを参照してください。

写真の読み取りは、お客様の責任において行ってください。

- 横向きの写真を読み取る場合は、横向きにセットしてください。読み取ったときの向きでページに表示されます。
- 複数の写真をまとめて読み取る場合は、上下の向きを揃えて読み取ることをお勧めします。
- 写真の裏面に文字などが印刷されていると、写真の裏面も読み取る場合があります。裏面を読み取らないように ScanSnap で設定してください。設定方法は、ScanSnap のマニュアルを参照してください。

CardMinder から名刺データを取り込む場合

- 対応している CardMinder のバージョンについては、『はじめにお読みください』を参照してください。
- CardMinder から名刺データを取り込む場合、CardMinder で操作を行います（詳細は、『CardMinder ユーザーズガイド』を参照してください）。

CardMinder の名刺イメージを Rack2-Filer Smart の画面へドラッグ & ドロップすると、画像ファイルのみ取り込まれます（名刺データは取り込まれません）。

- 名刺データは、フリガナ順に取り込まれます。
- 取り込まれた名刺データの登録日付には、CardMinder で入力した登録日付が設定されます。

「Windows のセキュリティの重要な警告」画面が表示された場合

Windows のファイアウォールにより、「Windows のセキュリティの重要な警告」画面が表示される場合があります。

この場合、以下の対応を行ってください。

- **Windows 8.1、Windows 8、および Windows 7 の場合**

[アクセスを許可する] ボタンをクリックしてください。プログラムの名前は「Rack2-Filer Smart」です。

- **Windows Vista および Windows XP の場合**

[ブロックを解除する] ボタンをクリックしてください。プログラムの名前は「Rack2-Filer Smart」です。

上記以外の対応をした場合は、以下を行ってください。

- **Windows 8.1 および Windows 8 で、[キャンセル] ボタンをクリックした場合**

1. スタート画面で右クリックし、[すべてのアプリ] – [Windows システム ツール] の [コントロールパネル] – [Windows ファイアウォール] を選択します。

[Windows ファイアウォール] 画面が表示されます。

2. 画面の左側に表示された、「Windows ファイアウォールを介したアプリまたは機能」を選択します。

[許可されたアプリ] 画面が表示されます。

3. 「設定の変更」をクリックします。

4. 「許可されたアプリおよび機能」一覧にある [Rack2-Filer Smart] にチェックします。

5. [OK] ボタンをクリックします。

- **Windows 7 で、[キャンセル] ボタンをクリックした場合**

1. スタートメニューから [コントロールパネル] – [システムとセキュリティ] – [Windows ファイアウォール] を選択します。

[Windows ファイアウォール] 画面が表示されます。

2. 画面の左側に表示された、「Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」を選択します。

[許可されたプログラム] 画面が表示されます。

3.「設定の変更」をクリックします。

4.「許可されたプログラムおよび機能」一覧にある [Rack2-Filer Smart] にチェックします。

5.[OK] ボタンをクリックします。

• **Windows Vista** で、**[ブロックする]** ボタンをクリックした場合

1.スタートメニューから[コントロールパネル]ー[セキュリティ]ー[Windows ファイアウォール]を選択します。

[Windows ファイアウォール] 画面が表示されます。

2.画面の左側に表示された、「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」を選択します。

3.「例外を有効とするプログラムまたはポート」一覧にある [Rack2-Filer Smart] にチェックします。

4.[OK] ボタンをクリックします。

• **Windows XP** で、**[ブロックする]** ボタンをクリックした場合

1.スタートメニューから [コントロールパネル]ー[ネットワークとインターネット接続]ー[Windows ファイアウォール]を選択します。

[Windows ファイアウォール] 画面が表示されます。

2.[例外] タブの「プログラムおよびサービス」一覧にある [Rack2-Filer Smart] にチェックします。

3.[OK] ボタンをクリックします。

注意 : [後で確認する] ボタンを選択した場合

次回の起動時に、再びファイアウォールのブロックの警告が表示されます。

注意 : 警告メッセージが表示された場合

- ウイルス対策ソフトなどで警告メッセージが表示された場合は、ウイルス対策ソフトなどのマニュアルを参照してください。
- 警告メッセージで許可するプログラムの名前は、以下のいずれかです。
 - Rack2-Filer Smart
 - Rk2Cabinet
 - Rk2SSConnector
 - Rk2CardMinder
 - Magic Desktop

索引

C

CardMinder	69
CardMinder から名刺データを取り込む 場合	73

M

Magic Desktop	31
---------------------	----

P

PDF 変換	63
--------------	----

R

Rack2-Filer Smart for Android	45
Rack2-Filer Smart for iOS	45

い

移動 (写真)	41, 43
移動 (バインダ)	66
移動 (ページ)	14
印刷	69

え

エクスポートする	47
----------------	----

か

画面項目 (印刷設定画面)	29
---------------------	----

き

キャビネット	2, 3, 70
--------------	----------

く

クイックメニュー	25
クラウドストレージへアップロード	61
クラウドストレージを利用する場合	71

け

検索	33, 35
----------	--------

さ

サイズ変更 (写真)	41
作成 (キャビネット)	60
作成 (書庫)	59
作成 (バインダ)	8

し

自動バックアップ	73
写真	38
写真を読み取る場合	73
終了	21
書庫	3, 70

す

ストレージ	3, 70
-------------	-------

せ

設定 (ストレージ)	56
------------------	----

そ

操作の流れ	5
-------------	---

つ

ツール情報 16

て

データの管理 3, 70

データを共有する場合 71

テキスト情報の抽出 33

電子ファイルの編集 36

と

取り込み (Magic Desktop のデータ) ... 31

取り込み (紙) 12, 24

取り込み (写真) 38

取り込み (ファイル) 10, 27

ね

ネットワーク共有 68

ネットワークドライブを利用する場合
..... 71

は

バインダ 3, 70

バインダの受け渡し 55

ひ

ビューア 4

ふ

ファイル形式 70

復元 73

複製 (バインダ) 65

付箋紙 16

へ

ページ 70

ほ

保存 21

ま

マーカー 19

め

メール送信 68

名刺 69

名刺を読み取る場合 73

メモ 18

も

持ち出しを終了する 53

モバイル機器の編集を反映する 50

モバイル機器へエクスポートする 47

本書の記載について

表記

●製品の表記

製品	本書の表記
Dropbox	クラウドストレージ
SugarSync	
パーソナルドキュメントスキャナ ScanSnap シリーズ (SV600、iX500、S1300i、S1100、S1300、S1500)	ScanSnap

●ソフトウェアの表記

ソフトウェア	本書の表記
Microsoft® Word 2013 Microsoft® Word 2010 Microsoft® Office Word 2007 Microsoft® Office Word 2003	Word
Microsoft® Excel® 2013 Microsoft® Excel® 2010 Microsoft® Office Excel® 2007 Microsoft® Office Excel® 2003	Excel
Microsoft® PowerPoint® 2013 Microsoft® PowerPoint® 2010 Microsoft® Office PowerPoint® 2007 Microsoft® Office PowerPoint® 2003	PowerPoint
Windows® Internet Explorer® Microsoft® Internet Explorer®	Internet Explorer
Adobe® Acrobat®	Adobe Acrobat
Adobe® Acrobat® Reader® Adobe® Reader®	Adobe Reader

● オペレーティングシステムの表記

オペレーティングシステム	本書での表記	
Windows [®] 8.1 operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)	Windows 8.1	Windows
Windows [®] 8.1 Pro operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)		
Windows [®] 8.1 Enterprise operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)		
Windows [®] 8 operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)	Windows 8	
Windows [®] 8 Pro operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)		
Windows [®] 8 Enterprise operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)		
Windows [®] 7 Starter operating system 日本語版 (32 ビット版)	Windows 7	
Windows [®] 7 Home Premium operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)		
Windows [®] 7 Professional operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)		
Windows [®] 7 Enterprise operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)		
Windows [®] 7 Ultimate operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)		
Windows Vista [®] Home Basic operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)	Windows Vista	
Windows Vista [®] Home Premium operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)		
Windows Vista [®] Business operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)		
Windows Vista [®] Enterprise operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)		
Windows Vista [®] Ultimate operating system 日本語版 (32 ビット版、64 ビット版)		
Windows [®] XP Home Edition operating system 日本語版	Windows XP	
Windows [®] XP Professional operating system 日本語版 (32 ビット版)		

本書の画面について

- Microsoft Corporation のガイドラインにしたがって画面写真を使用しています。
- 本書では、Windows 7 の画面写真を操作説明に使用しています。
- 本書では、画面に表示される他社アイコンをモザイク処理しています。

商標

- Microsoft、Windows、Windows Server、Excel、および PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Word は、米国 Microsoft Corporation の製品です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe PDF ロゴ、Acrobat、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ScanSnap、ScanSnap ロゴ、Card Minder、Rack2-Filer、および Magic Desktop は、株式会社 PFU の日本における登録商標または商標です。
- Wi-Fi および Wi-Fi Protected Setup は、Wi-Fi Alliance の商標です。
- iPad、iPhone、および iPod touch は、Apple Inc. の商標です。
- Android および Google Play は、Google の登録商標または商標です。
- その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

Rack2-Filer Smart を使おう！

P2WW-3071-03Z0

発行日 2014年1月
版数 第3版
発行責任 株式会社PFU



- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 本書で使用している一部の画像データの著作権は富士通株式会社に帰属します。これらの画像データの複製・転用を禁止します。